

ISSN1881-7017

KYUSHU UNIVERSITY LIBRARY

Annual Report 2009/2010

九州大学附属図書館年報 2009/2010

CONTENTS もくじ

Topics	3
展示会・講演会	7
国際交流	10
利用説明会・講習会	11
新規コレクション／九州大学学術情報リポジトリ(QIR) ..	12
研究開発室	13
職員研修	14
統計	15
組織	21
人事異動	23
出版物／貴重資料の学外展示・掲載・放映 ..	24
図書館日誌	25



附属図書館長
丸野 俊一

「学習・教育・研究」の中核になる 「大学図書館」を求めて

「大学図書館」は、学生や教職員が、時空間を超えて先人が築き上げて来た歴史的にも、社会的にも、文化的にも価値ある膨大な知的資源を有効に活かしながら、「自分なりの問いに答え、自己実現を図る」「専門的知識を深める」「新たな知や学問分野を創出する」「世界の人々と知的交流を行う」だけでなく、人類や社会が抱えている諸問題を創造的に解決していく知識や技法を学ぶ「学習・教育・研究」環境の中核として、本来、位置づいています。

しかし、その「大学図書館」を学生や教職員が、如何に利用するか、その利用の仕方や「大学図書館」の機能の在り方に、新たな動きが生まれつつあります。従来(いや今でも多くの人はそう認識しているかもしれませんが)、「大学図書館」を利用する時のスタンスは、図書館に蓄積されている大量の資料や図書の中から自分が求めている必要なものを選出し、それに真摯に向き合い、悪戦苦闘を繰り返しながら自分なりに納得できる意味世界をひたすら追求していく個人プレーが主流であったのではないかと思います。そこは“静寂な知の探求の時間・空間”として特徴づけられます。

ですが、いまでは“ラーニング・コモンズ”と名称される、新たな利用のされ方がクローズアップして来ています。それは一つのテーマや資料を前にして、複数の者が自由闊達に議論を繰り返しながら、新たな知や意味世界を追求していく社会的協働構成による利用の仕方です。そこは“知的ざわつきのある、興奮の絶えないホットな知の探求の世界”として特徴づけられます。いまや「大学図書館」には、学生や教職員が、問題や状況に応じて、そうした二つの世界を自由に使い分け、往還しながら知を探求していくのに臨機応変に対処できる創造的な学習環境作りが求められています。

「大学図書館」の果たす機能に眼を転じてみると、従来のように、利用者が必要とする情報を単にサービス提供するというのみでなく、大学の研究力の一つの重要な指標になりうる機関リポジトリの構築・公開に力を注いだり、教員と一緒に新たな教材を開発したり、さらには情報リテラシー教育支援に向けて学生へのコアセミナーの開催、研究者や図書館職員に対してオンデマンド講習会や利用頻度の高い特定データベースの技法(例:Scopus, RefWorks, SciFinder Scholar)説明会を開催するなど、教育活動への参画も極めて重要な機能になっています。その意味では、「大学図書館」そのものは、時代の動向に柔軟に対処可能な知識や技能を学び続ける個人に匹敵する“学び続け発展する組織体”でなければなりません。

いまや「大学図書館」には、新たな視点から、人類が築き上げて来た知的財産を継承しながら、新たな知を創出・開拓していく重要な“学びの場・共同体”作り(図書館に対する認識のパラダイムシフト)が求められています。学生・教員・図書館職員が一体となって、創造的な“学習・教育・研究”環境としての「大学図書館」作りに、叡智と努力を注いでいくことが極めて重要です。

今後とも変わらぬ皆様の温かいご理解とご支援を心よりお願い申し上げます。

Topics

統合移転第Ⅱステージ完了 - 理系図書館、伊都図書館として新たな出発 -

21年4月1日、理系図書館は、六本松地区から伊都地区へ移転した全学教育、比較社会文化研究院・学府、言語文化研究院、高等教育開発推進センターへのサービスを開始し、名称も「伊都図書館」と改称しました。

開館を続けながら行われた増築工事も7月末に完了し、8月から9月に

かけて什器の搬入・設置と六本松図書館・中央図書館(数理学研究院)からの資料移転を行い、10月1日にリニューアルオープンしました。

これで九州大学統合移転の第Ⅱステージが完了し、次は第Ⅲステージの平成26年度の理学系移転に備えることとなります。

◆ 六本松図書館・数理学研究院の移転

六本松図書館および数理学研究院の移転に向けて、移転先の施設設備の整備、資料の移転およびデータ移行、組織の再編、サービスの移行など、新図書館推進室の下に設けた各実務チームを中心に、以下のとおり準備・実施を進めました。

■「理系図書館」から「伊都図書館」へ改称(H21.4)

理系図書館において全学教育および文系の学生・教職員へのサービス提供を担うことになるため、新中央図書館ができるまでの間、「理系図書館」を「伊都図書館」と称することとした。これに伴い、規則等の改定、施設サインの取り換え、ウェブサイトの更新等を行った。

■伊都図書館六本松分室の開室(H21.4-8)

理系図書館の増築遅延により、数理学研究院六本松分室および六本松図書館の研究用図書約20万冊が六本松地区に半年間残ることになったため、2月に閉館した六本松図書館を伊都図書館六本松分室として開室した。4月から8月末まで、閲覧・貸出・返却・資料の配送等のサービス提供を行った。

■伊都図書館完成(H21.7)

平成20年12月に開始されたⅡ期増築工事(2-3階、地階の一部)が7月に完了、伊都図書館が完成した。工事期間中、伊都図書館は通常通り開館し、利用者へのサービスを行った。

なお、3階部分は第Ⅲステージでウエスト1号館が竣工するまでの間、数理学研究教育棟の一部として運用される。

■設備の導入(H21.8-9)

増築部分竣工後、書架・閲覧机・椅子等の什器およびパソコン等の機器を導入した。

■六本松図書館および中央図書館(数理学研究院)の移転(H21.8-9)

伊都図書館内の資料の再配置(約8万冊)を行うとともに、六本松図書館に残された研究用図書(約20万冊)および中央図書館所蔵の数理学研究院の資料(約8万冊)を伊都図書館へ移転した。

また、六本松地区から箱崎地区への理学系教員の移動に伴い、六本松図書館所蔵の理学系研究用図書(約2.3万冊)を中央図書館へ移転し、中央図書館で従来学科別に配架されていた理学研究院の図書とあわせて分類順に一元配架しなおして、数年後に控える理学系移転に備えた。

■伊都図書館六本松分室の閉室(H21.9-10)

8月末で伊都図書館六本松分室を閉室し、9月から10月初旬にかけ、什器等の各図書館への移転、不用物品の廃棄処分等を行い、移転跡地引き渡しのための整備を行った。



【施設概要】 建築面積：3,672.06㎡ 延べ面積：14,741.87㎡
構造：鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造) 地下1階地上3階
収蔵可能冊数：134万冊 閲覧席数：740席

◆「嚶鳴天空広場 Q-Commons」運用開始

伊都キャンパスセンター地区の全学教育講義棟「センター2号館」の4階に、図書館機能を備えた学習・交流スペース「嚶鳴(おうめい)天空広場Q-Commons」が21年4月オープンしました。

これは、学生が講義室に近い場所で資料を活用しながら学習できるよう、全学教育施設として整備されたもので、シラバス掲載図書など授業に密接に関連した資料、パソコン、自由に動かすことのできるテーブルなどを配置しています。カウンターには図書館職員を配置し、図書館サービスを行うとともに、新入生の様々な質問に対応しています。授業の合間に気軽に立ち寄り、学習・交流・情報収集ができる場として、オープン以来多くの学生で賑わっています。



図書館システムを一新

図書館システムは、業務を主体としたこれまでのシステムを一新し、ウェブ利用やユーザーサービスを中心としたシステムに生まれ変わりました。ベンダーはこれまでのNECからNTTデータ九州へと変更となり、共同で大規模大学対応の統一パッケージを構築しました。ハードウェア構成の見直しや大学固有カスタマイズの抑制を行う一方で、利用者認証方

式の変更、eリソース管理システムの導入、携帯電話対応、ディスカバリインターフェース開発など、大幅な機能拡張を行いました。また、サーバ群は安定的運用と管理の効率化のため、初めて図書館を離れ情報基盤研究開発センターへ設置しました。

◆ 全学共通 ID / 全学共通ICカードの導入

図書館の利用者IDの運用を図書館独自IDから全学共通ID(学生ID、SSO-KID)へ変更するとともに、入館ゲート・自動貸出装置等各種機器の全学共通ICカード対応を行いました。これにより、入館、貸出、「きょうとMyLibrary」(マイアカウント)、「どこでもきょうと」(学外からeリソースへアクセス)といった図書館サービスに加え、大学レベルでの認証連携も実現しました。また、利用者登録業務の迅速化・効率化にもつながりました。



◆ Shibboleth 対応

次世代の学術機関認証基盤として期待されるShibbolethによるウェブ認証を開始し、「きょうとMyLibrary」、「どこでもきょうと」で、Shibbolethによるシングルサインオンを実現しました。今後、国立情報学研究所の学術認証フェデレーションへ参加し、学内サービスのみならず、他大学や商用のサービスもシングルサインオンで利用できるようになる予定です。



◆ eリソース管理システムの導入

従来からの冊子資料だけでなく、電子ジャーナル、電子ブック、データベース等増え続けるeリソースのコストやライセンスを適切に管理し、利用者へ信頼できるアクセスを提供するために、eリソース管理(ERM)システムを導入しました。

今後、図書館システムの一部として、eリソースサービスの基盤となることが期待されます。

◆ 携帯版「きょうと MyLibrary」

図書館ウェブサイト、「きょうとOPAC」(蔵書検索)に加えて、「きょうとMyLibrary」も携帯電話から利用できるようになりました。以下のサービスに対応しています。

- ・ 図書の予約・配送
- ・ 貸出・予約状況の確認
- ・ 貸出期間の延長
- ・ 文献複写・図書貸借依頼の状況確認
- ・ 図書館の施設予約



◆ ディスカバリインターフェースの開発

従来からのOPACに代わり、図書館資源への統一的なアクセスを提供するディスカバリインターフェースの開発を行い、試験公開しました。ファセットによる絞り込み、表紙やフォーマット画像の表示、なぜそのレコードがヒットしたのかを示すハイライト機能など、ユーザが必要なものを見つけやすくするインターフェースを目指しています。



Topics

中央図書館「きゅうと commons」オープン

ディスカッションやグループ学習など、コミュニケーション型学習の場を提供するため、中央図書館2階の参考図書閲覧室を改装し、21年10月、ラーニング commons「きゅうと commons」をオープンさせました。

自由に動かすことのできるテーブルと椅子、ホワイトボード、教育情報システムの iMac10台を配置し、多様なスタイルの学習、授業で利用できるようになっています。また、スペースの可動性を活かして、各種のイ

ト開催にも活用できます。

オープン後、学生がグループでホワイトボードを使って勉強している光景がよく見られるほか、集中講義の場として利用されるなど、様々な活用されています。



コミュニケーション型学習のための機器等を各館に整備

ディスカッションやプレゼンの練習、授業等に活用できるよう、中央・伊都・医学・芸術工学の各館のグループ学習室等に大型ディスプレイやプロジェクタ、ホワイトボード、ブルーレイディスクプレーヤー等の機器、什器を設置しました。これにより、図書館活用の幅が格段に広がり、利用者にも大変好評で、頻繁に利用されています。



教育情報システム 図書館における運用を開始

情報統括本部との連携のもと、20年度に整備した iMac パソコン 141 台により、4 月、教育情報システムの図書館における運用を開始しました。新システム及び Mac への移行に伴う混乱もありましたが、利用者への利用指導及びプリンタ設置など利用環境を整備したことにより、徐々に運用も落ち着き、連日多くの学生に利用されています。現在、伊都図書館等への増設分を加え、附属図書館全体で 219 台となっています。

また、言語文化研究院との連携により、図書館の情報サロンを語学 eラーニング学習の利用施設としても活用することとし、ヘッドホン等の機器及び運用体制の整備を行いました。

学生企画による常設展示・学生団体等との共催イベントの実施

◆ 学生企画による常設展示

21年9月より、学内の研究室、サークル等を対象に、中央図書館2階ロビーの常設展示コーナーを使用した展示企画の募集を開始しました。

学内、学外問わず多くの方が来館する図書館において、研究や授業、サークル活動の成果を広く発表する場を提供し、図書館施設のさらなる

活用、図書館の活性化を図ることを目的としています。

21年度は学生団体から1件の応募があり、その活動を紹介する写真展『「きんしゃいきやんぱす」のまいにち～子ども×大学生×商店街＝サプライズな日常がここにある～』を開催しました。

◆ 九州大学 C&C「子ども未来プロジェクト」との共催イベント

九州大学 C&C「子ども未来プロジェクト」との共催で、絵本の展示やワークショップ等のイベントを行いました。

普段の図書館の雰囲気からがらりと変わった展示空間は、利用者の目を惹きつけるものとなりました。また、ワークショップやカフェは、様々な学部の学生が交流する機会となり、参加者は大いに刺激を受けたようです。

※九州大学 C&C「子ども未来プロジェクト」… 本学統合新領域学府でユーザー感性学を学ぶ学生によるプロジェクト。考える愉しさの方法論を確立し、子どもと大人の「知識を統合して考える愉しさ」の啓蒙をミッションとしている。



キュート・カフェ 秋の図書館で絵本を愉しもう!
～絵本でおしゃべり・カフェで絵本～

【開催日】10月23日(金)～24日(土) 10:00～17:00
【場 所】中央図書館2階 きゅうと commons

キュート・カフェ 研究する研究

【開催日】11月28日(土) 10:30～16:00
【場 所】中央図書館2階 リフレッシュルーム

「学ぶたのしさを展」

【開催日】12月17日(木)～18日(金) 10:00～16:00
【場 所】中央図書館2階 きゅうと commons

大型図書資料選定委員会の設置

21年度、本学が学術研究上備えるべき人文社会科学分野の大型資料を体系的・継続的に収集するため、大型図書資料充実経費が図書館に配分されました。

この予算による資料選定のため、附属図書館商議委員会の下に関係

部局委員からなる「大型図書資料選定委員会」を設置し、21年度は4点の大型図書資料を選定、購入しました。

(購入した図書の紹介は12ページをご覧ください)

電子ジャーナル購読方針の策定

附属図書館商議委員会とその下に設置された電子ジャーナル等検討専門委員会および同専門部会において、全学共通経費による電子ジャーナルの購読方針を策定しました。

平成22年度(2010年版)については、利用単価が高いパッケージ契約および個別購読の電子ジャーナル群の一部を中止すること、ただし、購読中止による教育研究活動への影響を最小限に抑えるため、一定の条件に当てはまる電子ジャーナルは個別に継続購読することを決定しま

した。

さらに、新規購読希望への対応を含んだ平成23年度(2011年版)以降の契約誌選定方針について、毎年、外国雑誌予約調査の時期までに、次年度の契約誌選定案を一定の方針で作成することを決定しました。これにより、値上りが続く電子ジャーナルの効率的な整備と安定供給のための枠組みが整いました。

筑紫図書館常設展示「九州大学筑紫キャンパスの歴史散歩」

筑紫図書館では、21年10月に「九州大学筑紫キャンパスの歴史散歩」と題した常設展示を開始しました。

これは九州大学埋蔵文化財調査室が行った筑紫キャンパス敷地内の発掘調査の成果の一部を紹介したもので、オープンキャンパスでの展示会が好評だったことを受け常設化することになりました。

展示は写真パネル16枚と出土した弥生時代の祭祀土器のレプリカからなり、パネルでは古代において同キャンパスがどのような地域であったかを解説しているほか、同キャンパスの先進的な研究事例なども同時に紹介し、古代から現代までの筑紫キャンパスの変遷を対比させながら楽しめるようになっています。



九大インターンシップ参加学生の受け入れ

学生が母校で就業体験する九大インターンシップが21年度試行的に実施され、図書館でも学部学生1名を受け入れました。

研修は1日6時間、5日間にわたり、実際の業務を体験してもらえよう、説明は最小限に止め、通常職員が行っている作業を主体とした内容としました。

事後報告会では、大学事務の実際を知ることができ進路を考えるうえで参考になった、図書館を将来の就業先候補として考えるようになった等の感想があり、授業科目として単位認定される予定の22年度に向け有意義な試行となりました。

中学生の職場体験学習

実際に職場で仕事を体験することを通して将来の職業選択に役立てることを目的とした、中学生の職場体験学習を受け入れました。

【中央図書館】

【学校】福岡市立和白丘中学校2年生 5名

【期間】平成21年10月20日(火)~22日(木)

カウンターでの貸出・返却のほか、図書の整理や資料の電子化、ILLといった中学校の図書室では目にする機会がないと思われる業務など、大学図書館の幅広い業務について体験してもらいました。各担当者の説明に熱心に耳を傾け、資料の配架や書架整理といった作業に一生懸命に取り組む姿勢が大変印象に残りました。



展示会・講演会 Exhibition & Seminar

開学記念展示 第50回附属図書館貴重文物展示 「濱一衛と京劇展:濱文庫の中国演劇コレクション」

【期 間】平成21年5月11日(月)～18日(月)
 【会 場】九州大学中央図書館 2階特設展示会場
 【主 催】九州大学附属図書館
 【来場者】363名

研究室の写真等から当時の様子を懐かしく思い出されていました。

17日(日)には、中里見敬氏(九州大学准教授)、中尾友香梨氏(佐賀大学講師)による講演会を開催しました。展示品についての分かりやすい解説とともに、京劇のCD、DVDも用いての講演に、会場は当時の中国演劇の世界にタイムスリップしたようでした。

◆ 関連講演会

【日 時】平成21年5月17日(日) 14:00～15:30
 【会 場】九州大学中央図書館 4階視聴覚ホール
 【講演者】「濱一衛の見た北京と京劇」
 中里見敬(九州大学言語文化研究院准教授)
 「濱文庫の唱本と明清楽資料」
 中尾友香梨(佐賀大学文化教育学部講師)
 【来場者】68名

九州大学教養部教授であった濱一衛先生が蒐集した京劇に関する資料と、濱先生の京劇に対する情熱がうかがえる遺品、著書、講義ノート等、約80点を展示しました。

濱先生の旧蔵書である「濱文庫」には、京劇の全盛期、1930年代の北京留学中に先生が足繁く劇場に通って収集した、当時の中国演劇の生の資料が数多く収蔵されています。なかでも、「戲単」と呼ばれる京劇のプログラムは、本学所蔵のようにまとまったコレクションは珍しく、来場者は熱心に見入っていました。また、かつて濱先生に学んだ方も来られ、昔の研



「九州大学所蔵の史資料—過去・現在・未来—」 公開シンポジウム・関連展示会

◆ 公開シンポジウム

【日 時】平成21年12月12日(土) 13:30～17:30
 【会 場】九州大学中央図書館 4階視聴覚ホール
 【主 催】九州史学会、九州大学法文学部85周年/文学部
 60周年記念事業(はごろもプロジェクト)
 【後 援】九州大学附属図書館

シンポジウムでは、1)九州大学における研究の伝統をあらためて再考すること、2)大学において史資料を適切に管理するための手だてや課題について議論を深めること、3)大学の教育機能や社会との関係を念頭に、史資料の利用に関する諸問題を討議すること、以上三つの課題を念頭において、考古学資料、檜垣文庫、古文書、漢籍について現状と問題点が報告され、後半のパネルディスカッションでは、報告者と参加者の間で活発な意見交換が行われました。新中央(文系)図書館建設を数年後に控え、本学所蔵の史資料の価値を再認識するとともに、図書館としての使命を改めて考える機会となりました。

◆ 関連展示会

【期 間】平成21年12月10日(木)～13日(日)
 【会 場】九州大学中央図書館 2階特設展示会場
 【来場者】181名

九州史学会、九州大学法文学部85周年/文学部60周年記念事業(はごろもプロジェクト)の共催、附属図書館の後援で、「九州大学所蔵の史資料—過去・現在・未来—」というテーマで公開シンポジウム、関連展示会が行われました。



講演会 「仙厓と中山森彦博士」

【日 時】平成21年10月10日(土)
【会 場】福岡市美術館 講堂
【講演者】後小路雅弘(九州大学人文科学研究院教授)
中山喜一郎(福岡市博物館学芸員)
【来場者】76名

九州大学文学部/福岡市美術館主催展示会「仙厓展—九州大学文学部所蔵中山森彦コレクション—」(平成21年10月3日—11月29日 会場:福岡市美術館)に合わせ、後小路雅弘氏(人文科学研究院教授)と中山喜一郎氏(福岡市博物館学芸員)による「仙厓と中山森彦博士」と題した講演会を福岡市美術館にて開催しました。これは、附属図書館の職員研修として定期的に行っている貴重文物講習会として開催したもので、初の学外での、一般市民も対象とした講習会となりました。

江戸後期の博多・聖福寺の住職で、禅の境地をわかりやすく説き示す軽妙洒落でユーモアに富んだ仙厓和尚と、その作品の蒐集と保存に心血を注いだ中山森彦博士(元九州大学医学部教授)という二人の人柄に触れ、参加者は作品を見る目を新たにしました。

常設展示

中央図書館2階常設展示コーナーにて、平成21年度は以下の展示を行いました。

●支子(くちなし)文庫の世界 (H21.3.2~6.30)

九州産業大学講師の田村隆先生のご協力により、新たにデータベース化した『零葉集』をはじめとする支子文庫の資料等を展示しました。

●「シリーズこの人を見よ① 若田光一さん」(H21.5.11~6.30)

九州大学の卒業生である宇宙飛行士、若田光一さんの国際宇宙ステーション(ISS)長期滞在に合わせて、サイン色紙、ワッペン、公式飛行記念品としてISSに携行した九州大学オリジナルポロシャツのレプリカ等を展示しました。

●演文庫の京劇資料 (H21.7.1~9.4)

好評だった第50回附属図書館貴重文物展示「演一衛と京劇」展の資料の一部を展示しました。

●むかしむかし、あるところに…おとぎ話の世界(音無文庫収蔵・稀書複製会刊行書より)

(H21.9.5~10.26)

音無文庫収蔵の稀書複製会刊行書から、おなじみのおとぎ話、「ももたろう」、「さるかに合戦」、「ぶんぶくちやがま」を展示しました。

●「きんしゃいぎゃんばす」のまいにち~子ども×大学生×商店街=サプライズな日常がここにある~

(H21.10.27~11.23)

21年度より募集を開始した学生企画第1弾として、キャンパス近隣にある商店街の一品店で子どもたちの遊び場を提供・運営している学生団体「きんしゃいぎゃんばす」の活動を紹介する写真展を行いました。

●資料で見る相撲 (H21.11.25~H22.1.31)

大相撲九州場所の開催に合わせて、相撲の歴史や決まり手等について、目で見て楽しめる絵入りの資料を紹介しました。

●竹取物語と伊勢物語：中央図書館所蔵資料と日本古典籍画像データベースの紹介

(H22.2.1~3.31)

日本古典籍画像データベースの紹介を目的とし、期間中、同データベース収蔵の、奈良絵本「竹とり物語」、「いせ物がたり」、伝為家(でんためいえ)筆本「伊勢物語」を入れ替えて展示しました。



「きんしゃいぎゃんばす」のまいにち



奈良絵本「竹とり物語」

展示会・講演会 Exhibition & Seminar

学術情報セミナー「学術情報流通の現在と未来」

【日 時】平成21年6月22日(月) 13:00~17:00
 【会 場】九州大学中央図書館 4階視聴覚ホール
 【主 催】九州大学附属図書館
 【後 援】九州地区大学図書館協議会、株式会社サンメディア
 【参加者】58名

本セミナーでは、学術情報流通のあり方が大きく変化する中で、図書館や利用者が求めている学術情報サービスとはどのようなものかについて、出版社等による講演と報告、および図書館の事例発表を通して考えました。附属図書館からは、交流協定校であるソウル大学校図書館に派遣され実務研修を行った職員が、同館における電子的サービスについて最新の事例報告を行いました。

附属図書館をはじめ、九州地区の大学図書館関係者60名近くが最新の事例に聞き入りました。



【プログラム】

≪第一部:講演とアップデートセッション≫

- 13:10 講演「世界の電子リソース管理の最先端と最新の技術アップデート」/
 Serials Solutions Richard Levy氏(Library Solutions Specialist)
 14:20 セッション RefWorks & e-PortUpDate
 「RefWorks-COS アップデート情報」
 「先進の国内医学系・看護系電子ジャーナル PierOnline」
 「CSA ILLUSTRATA」

≪第二部:事例紹介と学術情報アップデート≫

- 15:15 ProQuest日本支社「インデックスについて」
 15:35 事例紹介「ソウル大学校図書館における電子的サービス」/九州大学附属図書館eリソースサービス室 兵藤健志
 15:55 IOP Publishing「2010年ジャーナルコレクション及び新価格体系」
 16:15 NPGネイチャーアジア・パシフィック
 「NPG新規創刊・刊行タイトルのご案内」
 16:35 オックスフォード大学出版局株式会社
 「OUPのジャーナル&オンライン製品」
 17:00 閉会

教員著作物に係る講演会

【日 時】①平成21年7月23日(木) 16:30~18:00
 ②平成21年9月24日(木) 16:30~18:00
 【場 所】芸術工学図書館 3階研究セミナー室
 【講演者】①土居義岳(芸術工学研究院 教授)
 ②古賀 徹(芸術工学研究院 准教授)
 【演 題】①磯崎論
 建築家磯崎新の建築物に関する理念の解説と土居先生撮影の磯崎建築物のスライドでの紹介
 ②2010年代のモダンシティとデザイン
 2010年を迎える人々の近代の生き方や変容、今後の在り方について、時代ごとに本やデザインを紹介
 【参加者】①教職員6名、学生17名、一般市民1名
 計24名
 ②教職員6名、学生19名、一般市民2名
 計27名

芸術工学図書館では、教員が自身の著作物を紹介する講演会の企画をスタートさせ、21年度、2回の講演会を開催しました。これは、全国的に所蔵の少ない芸術・デザイン分野の資料を有する同館の特色を広く社会へ情報発信するべく企画したものです。

今回開催した2つの講演会では、両日とも講演終了後の質疑応答において、学生や教員から積極的な意見や様々な考え方、理解の相違等が出され、予定時間を超過するほどの盛況のうちに閉会となりました。

参加者からのアンケートでは「質疑応答の時間が短かった」「多くの人に参加してもらえようこの企画の広報を検討してほしい」との意見がありました。

図書館間交流協定

◆ ソウル大学校との図書館業務交流に関する覚書の更新

九州大学附属図書館は、平成11年にソウル大学校中央図書館との交流協定を締結しました。その後、この図書館間交流協定は、九州大学とソウル大学との大学間交流協定締結に伴い、平成16年に図書館業務交流に関する覚書へと引き継がれました。現在、職員の相互派遣・資料の交換を中心とした交流が続いています。

7月、館長をはじめとする職員がソウル大学校中央図書館を訪問、この覚書を更新し、今後の継続的な協力体制を確認しました。



◆ 交流協定図書館との往来

—往訪—

●台湾大学図書館

【訪問者】片岡 真

(情報システム部情報基盤課デジタルライブラリ担当)

【日 程】平成21年6月11日～13日

【目 的】台湾大学図書館電子リソース担当者との意見交換およびシンポジウム(台湾師範大学図書館)にて図書館サービスにおける情報技術の活用について発表

—来訪—

●ソウル大学校中央図書館一行(3名)

【日 程】平成22年2月23日～24日

【目 的】中央図書館・伊都図書館・付設記録資料館の視察

●ソウル大学校中央図書館

【日 程】平成21年7月9日～11日

【訪問者】丸野 俊一(館長)

濱崎 修一(附属図書館事務部長)

益森 治巳(附属図書館図書館企画課長)

江島 香代子(附属図書館図書館企画課長補佐)

兵藤 健志 (附属図書館eリソースサービス室eリソースサポート係)

【目 的】ソウル大学校中央図書館長表敬および図書館間交流協定覚書更新

◆ 交流協定図書館との資料交換(平成21年度)

九州大学→ソウル大学校 教員寄贈図書・雑誌116冊(51点)を寄贈

九州大学出版会図書28冊を寄贈

九州大学→慶北大学校 九州大学発行の紀要18冊を寄贈

ソウル大学校→九州大学 ソウル大学校出版会図書43冊を受贈

◆ 海外との往来

—往訪—

【訪問者】江藤 弘史(附属図書館利用支援課サービス企画係長)

【日 程】平成21年8月28日～9月4日

【訪問先】中華人民共和国

延辺大学、明東学校、第一高級学校、東北師範学校等

【目 的】図書館貴重本室見学および漢籍・貴重資料整理・管理・保存に関する調査

◆◆◆

【訪問者】星子 奈美(附属図書館eリソースサービス室リポジトリ係)

【日 程】平成21年11月22日～29日

【訪問先】ドイツ

ドイツ国立図書館、ゲッチンゲン大学図書館、技術情報図書館、バイエルン州立図書館、マックスプランクデジタル図書館等

【目 的】ドイツにおける学術情報の電子的発信および貴重資料の電子化に関する最新動向の視察

【訪問者】片岡 真 (情報システム部情報基盤課デジタルライブラリ担当)

牧瀬 ゆかり(附属図書館eリソースサービス室eリソースサポート係)

【日 程】平成22年1月24日～30日

【訪問先】カナダ・アメリカ

トロント大学、ロチェスター大学、Serials Solutions

【目 的】北米における認証システム、機関リポジトリおよび学術検索システムに関する調査、連携協議

◆◆◆

【訪問者】工藤 絵理子(附属図書館利用支援課文献流通サービス係)

井川 友利子(附属図書館利用支援課サービス企画係)

【日 程】平成22年2月21日～27日

【訪問先】アメリカ

メリーランド大学・シモンズ大学

【目 的】図書館情報学・記録管理学教育に関する調査

利用説明会・講習会 Library Workshops

利用者が学習・研究を行う上で必要な文献や情報を、効率よく探し出し活用できるよう、様々な講習会を開催しています。平成21年度は、eリソース連携チームの協力体制により、全学的な取り組みが一層進み、各

キャンパスの状況に適切に対応しながら実施することができました。今後もこの体制のもと、利用者のニーズに合わせた講習会を企画・実施し、学習・教育支援、研究支援を進めていきます。

●利用説明会

図書館側で日程、内容を設定し、利用者呼びかけて行うもので、特定データベースの詳細な説明を提供元の講師が行う方法を多く取り入れています。平成21年度は、新たな実施方式としてRefWorksでWeb講習会を採用したことなどにより、昨年度の56回811名から58回889名へと、実施回数・参加人数ともに増加しました。

内容	回数	人数
CSA Illumina	1	10
PubMed	5	124
日経NEEDS	2	45
Scopus	11	209
WoS	6	112
RefWorks(前期)	7	112
JDreamII	4	34
CiNii	4	38
SciFinder	8	32
医中誌Web	4	38
RefWorks(後期)	6	135
計	58	889

●オンデマンド講習会

利用者からの要望に応じて、日程、内容等を設定し、図書館職員が講師となって行うもので、平成15年度から実施しています。ほとんどが授業の一環として行われており、授業と連携した学習・教育支援として重要な活動になっています。同じゼミや授業科目からの継続的な依頼だけでなく、理学部化学科、比較社会文化学部、統合新領域学府など新たな分野からの申し込みも増えてきています。

対象	回数	人数
法学部	1	17
経済学部・学府	10	176
医学部・学府	8	303
理学部・学府	2	27
農学部	2	24
比較社会文化学府	2	14
統合新領域学府	1	6
記録資料館	1	5
全学教育	3	160
計	30	732

●新入生図書館ガイダンス

全学教育科目の一つであるコアセミナーの講義時間などを使って、新入生に図書館活用法を案内するもので、平成18年度から実施しています。内容は、「図書館の紹介」「図書や雑誌の探し方(実習)」「館内ツアー」を3つの柱として構成しています。平成21年度は、広報の強化や講師・サポート担当者の事前勉強会による実施体制整備等により、昨年度の約1.5倍の受講者数となりました。

対象	回数	人数
文学部	10	165
教育学部	1	48
法学部	4	188
経済学部	4	73
理学部	5	131
医学部	4	261
工学部	5	308
農学部	6	240
芸術工学部	4	167
総合理工学府	1	20
計	44	1,601

平成21(2009)年度実績

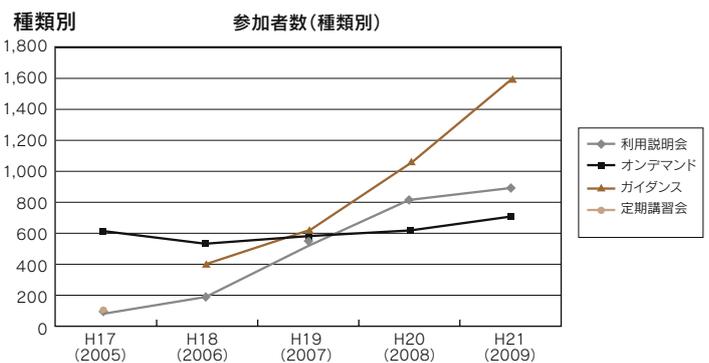
種類別

会場	利用説明会		オンデマンド講習会		新入生ガイダンス		計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
箱崎地区	12	192	6	62	29	797	47	1,051
伊都地区	10	144	5	174	5	308	20	626
病院地区	12	218	8	303	4	261	24	782
大橋地区	8	61	0	0	4	167	12	228
筑紫地区	4	42	0	0	1	20	5	62
文系地区	6	97	11	193	1	48	18	338
Web	6	135	0	0	0	0	6	135
計	58	889	30	732	44	1,601	132	3,222

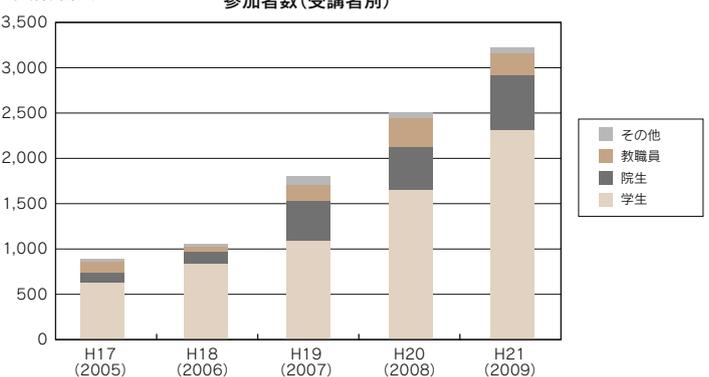
受講者別

会場	教職員	院生	学生	学内その他	学外者	計
箱崎地区	75	90	878	8	0	1,051
伊都地区	37	77	512	0	0	626
病院地区	93	116	551	14	8	782
大橋地区	15	35	174	4	0	228
筑紫地区	4	45	9	4	0	62
文系地区	31	162	141	4	0	338
Web	57	52	10	16	0	135
計	312	577	2,275	50	8	3,222

参加者数の推移



受講者別



新規コレクション

◆ 大型図書資料

人文社会科学分野の研究資料の充実のため、21年度は大型図書資料充実経費により以下の4点を購入了しました。

● J.M.ケインズ書簡・著作・研究書コレクション

著名な経済学者ケインズに関する資料のコレクション。ケインズや関連の人々の書簡類、ケインズの著書・論文・主要著作の外国語版およびケインズに関する研究書等62点からなる。

● ザヴィニーおよび歴史法学者講義ノートコレクション

ザヴィニーをはじめとする19世紀ドイツ普通法学者の講義ノートコレクション。民法、法史学、民事訴訟法等の講義を受講者が筆記したオリジナル・ノート13点からなる。

● 続修四庫全書 経部・史部・子部

中国清朝の乾隆期に編纂された「四庫全書」を引き継ぐ図書コレクション。「四庫全書」に収録されなかった図書や、「四庫全書」編纂後に刊行された図書等を収める。既所蔵の集部と合わせて、本学に四部全体が揃うことになった。

● 「帝国」研究データベース Empire Online

コロンブスから現代に至るまでの大英帝国関連資料を提供するデータベース。世界各国の図書館・文書館所蔵の一次資料をデータ化したもので、日記や書簡のほか、小説、戯曲、布教資料等、多様な資料が収録されている。

◆ 新規電子化コレクション

本学所蔵のコレクションから、21年度は以下の3点を電子化・公開しました。

● 平仮名絵入太平記 廣瀬文庫所蔵。寛文頃刊無刊記本41冊。

● 狭衣物語 細川文庫所蔵。江戸初期写。枳形本8冊。

● うつほ物語絵巻 細川文庫所蔵。寛文頃の制作と見られる。卷子5軸。

いずれも「日本古典籍画像データベース」からご覧いただけます。

http://mars.lib.kyushu-u.ac.jp/infolib/meta_pub/G0000002rare2



うつほ物語絵巻

九州大学学術情報リポジトリ(QIR)

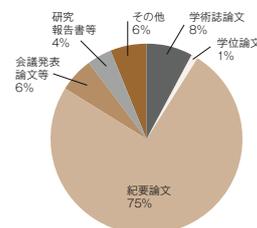
九州大学学術情報リポジトリ(以下QIR)は、学内研究成果の一次情報を収集・蓄積・保存・公開することを目的として、平成18年4月に公開しました。学内刊行物をはじめ様々なコンテンツ収集とその整備を行

い着実に数を増やすとともに、利便性を高めるためにシステムの強化・開発、他システムとの連携も進めてきました。その結果、諸ランキングにおいても上位を獲得するリポジトリシステムに成長しています。

◆ コンテンツの拡充

21年度は約2,900件のコンテンツ登録があり、累積件数は13,948件に達しました。

21年度は、各研究院等に対して一層の協力を依頼するとともに、研究室等個別の訪問を行い、コンテンツ収集を促進する活動を実施した結果、学内の全部局のコンテンツ登録が開始されました。



コンテンツ種類別内訳 (平成22年3月31日現在)

種類	件数
学術誌論文 (Journal Article)	1,142
学位論文 (Thesis or Dissertation)	95
紀要論文 (Departmental Bulletin Paper)	10,443
会議発表論文等 (Conference Paper)	868
研究報告書等 (Research Paper)	500
その他 (Others)	900

◆ 「持続可能な機関リポジトリのための人材進化構造」講習会継続開催

20年度に引き続き、国立情報学研究所が実施する「CSI委託事業(領域2)」により、講習会を21年10月、22年1月に開催しました。今期は更に演習に力を入れた内容となり、受講者はユーザの利便性向上や業務の省力化につながるアプリケーションについて企画を提案し開発に取り組みました。このプロジェクトでは知識や技術の向上、またその継承と普及を成果としてきましたが、受講者が一貫して2年間講習会に参加し共通の課題へ取り組むことで、別の機関・部署の受講生同士に強い結束力が生まれるなどの成果も得ました。

Web公開: <http://rd.lib.kyushu-u.ac.jp/projects/show/csipeople>

第3回講習会	日 時:平成21年10月15日(木)~16日(金)
内 容:	CakePHPを用いたWebアプリケーション開発の実際と演習
第4回講習会	日 時:平成22年 1月21日(木)~22日(金)
内 容:	各受講者Webアプリケーションの発表と多彩な仕組み、発展的トピック

開催場所:九州大学情報基盤研究開発センター2階情報サロン
 参加者数:各回 18名(学外:12名、学内:6名)
 講師:井上創造准教授(九州工業大学大学院工学研究院基礎科学研究系)
 竹森正起氏(九州工業大学大学院工学研究院基礎科学研究系研究支援員)
 杉本慎太郎氏(株式会社Fusic)

研究開発室 Research & Development

平成21年度は、下記の事項についての研究開発活動を行いました。主な取り組みについて紹介します。

○新専任教員の着任

井上創造准教授の九州工業大学への転出に伴い、8月より新たに馬場謙介准教授が着任しました。

○訪問研究員の受け入れ

11月、研究開発室訪問研究員として、大韓民国安城市立図書館の元図書館長の柳炳章(ユピョンジャン)氏を受け入れました(22年10月末まで)。図書館マーケティング戦略に関する日韓の比較について、以下の3テーマを中心に研究開発室および職員との共同研究を進めていきます。

- ・図書館サービスの顧客満足に関する日韓図書館の比較
- ・多文化プログラムに関する日韓図書館の比較
- ・図書館の空間構成に関する日韓図書館の比較

22年2月には、柳氏が昨年博士学位を取得した論文を基に「司書の参画が公共図書館建設に及ぼす影響」と題した研究報告会を行いました。

○貴重文物講習会を継続して実施

「図書館職員の専門性育成に関する調査研究」の事項において、「貴重文物講習会」を継続して実施しました。21年度も前年度に引き続き、図書館資料の他、学内の貴重建築物など、九大の貴重文物を広く取り上げました。また、21年度は初めて学外で、一般市民も対象として、展示会「仙厓展—九州大学文学部所蔵中山森彦コレクション—」(九州大学文学部/福岡市美術館主催、於福岡市美術館)に合わせて、「仙厓と中山森彦博士」と題した講演会を福岡市美術館にて開催しました。

平成21年度研究開発室研究開発事項

総括

研究開発の総括	丸野 俊一(附属図書館長、理事・副学長) 吉田 素文(附属図書館副館長、医学研究院教授) 三輪 宗弘(附属図書館付設記録資料館長) 荒木啓二郎(システム情報科学研究院教授) Wolfgang Michel(言語文化研究院長) 岡崎 敦(人文科学研究院准教授) 井上 創造(附属図書館研究開発室特別研究員、九州工業大学准教授)	大学における学術情報の収集、加工、蓄積、提供及びその他図書館が行う学習・教育・研究支援活動の改善に関する事項のうち、九州大学附属図書館研究開発室において行う課題を指定し総括するとともに、ライブラリサイエンスに関する教育システムの調査・研究を行う。
---------	--	---

I 将来計画に関する分野

統合移転後の新図書館計画に関する調査研究		伊都キャンパスに計画する新中央図書館について、基本計画立案から設計にいたるまで、建築及び設備の面からの調査研究を行う。
海外の大学図書館に関する調査研究	松原 孝俊(韓国研究センター教授)	海外、特にアジア諸国の大学図書館との図書館間交流の推進についての調査研究を行う。
図書館職員の専門性育成に関する調査研究	竹村 則行(人文科学研究院教授)	九州大学が所蔵するコレクションをはじめとした資料群について、その内容や価値、九大に所蔵するに至った経緯等についての調査研究をおこなうとともに、その過程のなかでサブジェクトライブラリアンとしての職員の専門性育成を図っていく。
学習・教育活動との連携に関する調査研究	吉田 素文(附属図書館副館長、医学研究院教授)	大学の学習・教育活動と連携した新たな教育支援サービスについての調査研究を行う。

II 電子図書館システムに関する分野

学術情報リポジトリに関する研究開発	荒木啓二郎(システム情報科学研究院教授) 廣川佐千男(情報基盤研究開発センター教授) 竹田 正幸(システム情報科学研究院教授) 池田 大輔(システム情報科学研究院准教授) 井上 創造(附属図書館研究開発室特別研究員、九州工業大学准教授) Wolfgang Michel(言語文化研究院長) 馬場 謙介(附属図書館研究開発室准教授) 伊東 栄典(情報基盤研究開発センター准教授)	学術情報リポジトリの構築に関する研究を行う。例えば、他のシステムとの連携や、複数のシステム間の統合検索、各種検索システムを研究開発する。
教員・学生のコミュニティ及びコンテンツ形成に関する研究	池田 大輔(システム情報科学研究院准教授) 井上 創造(附属図書館研究開発室特別研究員、九州工業大学准教授)	学生や教員のコミュニティを中心とした活発かつ効果的な教育のために、SNS(Social Networking Service)システムを基盤とした新機能を研究開発する。
RFIDによる図書館システムに関する研究	藤崎 清孝(システム情報科学研究院准教授) 井上 創造(附属図書館研究開発室特別研究員、九州工業大学准教授) 俊朗(附属図書館研究開発室特別研究員、九州情報大学教授)	図書館業務の自動化・省力化及び、魅力ある図書館の実現のために、RFID(Radio Frequency Identification)を用いた図書館システムおよび無線通信技術に関する調査および応用研究を行う。

III コンテンツ形成・発信に関する分野

図書館における著作権問題に関する調査研究	黒澤 節男(研究開発室特別研究員)	図書館における著作権問題を多角的に調査研究するとともに、今後、電子図書館システムの構築や図書館資料の電子化・発信を行う場合の個別事例に係る著作権問題について調査研究を行う。
貴重資料の画像及び書誌データベース作成に関する調査研究	今西裕一郎(附属図書館研究開発室特別研究員、国文学研究資料館長) 田村 隆(附属図書館研究開発室特別研究員、九州産業大学講師)	本学が所蔵する貴重資料等の画像データベース及び書誌データベース作成に当たっての対象資料の選定、データ作成方法、検索システム、表示方法等についての調査研究を行う。
資料保存に関する調査研究	岡崎 敦(人文科学研究院准教授) 三輪 宗弘(附属図書館付設記録資料館長) 栗山 平(附属図書館研究開発室特別研究員、九州産業大学・福岡女子大学非常勤講師)	本学が所蔵する資料の調査や、保存・管理態勢に関する調査研究を行う。

きゅうとステップアップ研修

◆貴重文物講習会

九州大学が所蔵する貴重資料に関して認識を深めること、図書館職員の専門性を高めることを目的とし、教員、大学院生も対象として19年度より開催しています。

21年度は下記の通り実施しました。

- [第19回] 4/24 旧石炭研究資料センター所蔵の特徴と概要
講師:三輪宗弘 記録資料館教授
- [第20回] 5/22 シャルル・ペラと古文書学校ーペラ文庫に寄せてー
講師:岡崎 敦 人文科学研究院准教授
- [第21回] 6/19 九大キャンパスの貴重建築物(Ⅰ)
講師:山野善郎 (有)建築史塾Archist
- [第22回] 7/24 文学部日本史学研究室の中世文書
講師:佐伯弘次 人文科学研究院教授
- [第23回] 8/21 九大キャンパスの貴重建築物(Ⅱ)
講師:山野善郎 (有)建築史塾Archist

- [第24回] 10/10 仙厓と中山森彦博士
講師:後小路雅弘 人文科学研究院教授
中山喜一郎 福岡市博物館学芸員
- [第25回] 10/23 中央図書館にある筑前国絵図
講師:宮崎克則 総合研究博物館准教授
- [第26回] 11/20 朝鮮本の面白さ:和本とも唐本とも異なる本の世界
講師:松原孝俊 韓国研究センター教授
- [第27回] 12/18 日本古典籍画像データベースについて
講師:田村 隆 九州産業大学講師
- [第28回] 1/29 九大所蔵漢籍の特徴と保存・整理の問題
講師:竹村則行 人文科学研究院教授
- [第29回] 2/19 九大の考古学資料について
講師:宮本一夫 人文科学研究院教授
- [第30回] 3/19 経済学部所蔵の17-18世紀欧州経済学関連文献について
講師:関源太郎 経済学研究院教授

*講習会の資料は、「九州大学学術情報リポジトリ(QIR)」で公開しています。

平成21年度附属図書館研修報告会

職員間で情報を共有し、職員の見識を深めるとともに、九大図書館等における今後の取り組みに生かすことを目的に実施しました。

海外及び国内での研修・シンポジウム等に参加した職員9人と研究開発室の馬場准教授がそれぞれ報告を行いました。様々な研修の内容に触れる機会となった一方、各発表が短く詳細も聞きたかったとのアンケートでの回答もあり、今後は、より詳しい内容に踏み込んだ報告会の開催も検討しています。

【開催日】平成22年2月23日(火) 14:00-17:00

【会場】中央図書館 新館4階視聴覚ホール

【プログラム】

- 兵藤健志「ソウル大学校図書館を訪問して」
- 江藤弘史「中国東北部大学等訪問」
- 片岡 真「台湾を訪ねて」
- 牧瀬ゆかり、片岡 真「北米訪問報告: トロント大学、ロチェスター大学、Serials Solutions」
- 星子奈美「ドイツ・スタディーツアー報告」
- 馬場謙介「国際会議参加報告」
- 羽賀真記子、井川友利子「歴史遺産としての古典資料の保存修復」シンポジウム参加報告」
- 山根泰志 「日本古典籍講習会」参加報告」
- 松石健祐 「利用者による図書館評価と図書館サービスへの反映」
- 堀 優子 「長研で得たヒント -大学図書館長期研修報告-

平成21年度図書系職員初任者研修

新任図書館員に対し、九州大学附属図書館の理念、目標や現在取り組んでいる主な事業計画等を理解させるとともに、図書館業務遂行に必要な基礎知識を習得させることを目的として実施しています。

これらの講義は、初任者以外の職員も多数聴講し、自己研鑽を深める契機ともなっています。

【プログラム】

- 5/19(火) 九州大学附属図書館の概要と図書館業務の流れ
九州大学統合移転と新図書館構想
図書館業務システム概要
ネットワークとセキュリティ
中央図書館内見学
研究開発室の概要と最近の研究内容

- 5/20(水) 九州大学附属図書館の将来構想
文献検索実習
e-Resource概要 サービスの現在とこれから
雑誌業務概要・雑誌受入実習
- 5/21(木) ILL業務概要・ILL実習
閲覧サービスの基本
伊都図書館見学
カウンター業務実習
- 5/22(金) 図書業務概要・図書目録実習
QIR概要
館長講話「新たな知や技能を学び続けるには」

目録システム地域講習会

国立情報学研究所と共催で、目録所在情報サービス参加機関の目録業務担当者が共通に理解しておくべき、総合目録データベースの構成・内容・データ登録の考え方(入力基準)の修得を目的とした講習会で、今年度は雑誌コースを開催しました。

九州地区の大学図書館職員14名が参加し、目録所在情報サービスの基幹を熱心に学ぶとともに、同じ業務を担当する他大学の職員との交流を深めました。

【開催日】平成21年7月1日～3日

【会場】中央図書館 3階第2情報サロン

統計 = 利用サービス = Statistics

平成21(2009)年度

		中央図書館 Central Lib.	医学図書館 Medical Lib.	芸術工学図書館 Design Lib.	筑紫図書館 Chikushi Lib.	伊都図書館 [*] Ito Lib.	響鳴天空広場 Q-Commons	文系合同図書室 Human.& Soc.Sci.Lib.	合計 Total
年間開館日数 Opening days (日)	平日 Weekday	237	235	240	238	228	166	224	1,568
	土曜 Saturday	51	49	33	51	49	0	40	273
	日曜・祝日 Others	65	64	6	0	65	0	0	200
	合計 Total	353	348	279	289	342	166	264	2,041
入館者数 Visitors (人)	教職員 Faculties	17,866	7,857	2,045	4,142	7,237	0	3,231	42,378
	学生 Students	312,703	135,709	29,757	37,279	173,682	90,160	27,674	806,964
	学外者 Others	41,880	6,205	1,928	3,874	3,967	0	412	58,266
	合計 Total	372,449	149,771	33,730	45,295	184,886	90,160	31,317	907,608
貸出冊数 Circulations(Items) (冊)	教職員 Faculties	7,993	2,691	6,954	1,097	7,501	182	14,407	40,825
	学生 Students	62,978	17,534	21,711	5,793	58,841	3,235	34,950	205,042
	学外者 Others	1,224	172	343	139	749	0	30	2,657
	合計 Total	72,195	20,397	29,008	7,029	67,091	3,417	49,387	248,524
貸出者数 Circulations(Users) (人)	教職員 Faculties	4,143	1,508	2,060	1,054	4,337	130	3,086	16,318
	学生 Students	33,729	11,986	10,824	5,394	33,449	2,474	9,704	107,560
	学外者 Others	760	110	162	130	513	0	20	1,695
	合計 Total	38,632	13,604	13,046	6,578	38,299	2,604	12,810	125,573
文献複写件数 Resource Sharing(copies) (件)	学外からの受付(国内) Requests(Domestic)	5,135	19,018	348	-	603	-	-	25,104
	学外からの受付(国外) Requests(International)	78	0	1	-	0	-	-	79
	小計 Subtotal	5,213	19,018	349	-	603	-	-	25,183
	学内からの受付 Request within KU (内、E-DDS件数 (E-DDS of above))	668 (217)	301 (182)	52 (40)	320 (231)	484 (379)	- (-)	- (-)	1,825 (1,049)
	合計 Total	5,881	19,319	401	320	1,087	-	-	27,008
	(うち謝絶) (cancel)	367	1,124	22	0	87	-	-	1,600
	学外への依頼(国内) Received(Domestic)	2,968	3,183	274	137	1,329	-	-	7,891
	学外への依頼(国外) Received(International)	78	28	0	0	41	-	-	147
	合計 Total	3,046	3,211	274	137	1,370	-	-	8,038
	(うち謝絶) (cancel)	302	566	7	0	135	-	-	1,010
相互貸借件数 Resource Sharing(Loans) (件)	学外からの受付(国内) Borrows(Domestic)	1,531	65	133	0	398	-	-	2,127
	学外からの受付(国外) Borrows(International)	0	0	0	0	0	-	-	0
	合計 Total	1,531	65	133	0	398	-	-	2,127
	(うち謝絶) (cancel)	252	23	19	0	126	-	-	420
	学外への依頼(国内) Loans(Domestic)	1,075	39	97	8	446	-	-	1,665
	学外への依頼(国外) Loans(International)	0	0	0	0	0	-	-	0
	合計 Total	1,075	39	97	8	446	-	-	1,665
(うち謝絶) (cancel)	71	9	1	0	51	-	-	132	
レファレンス件数 Reference inquiries (件)	教職員 Faculties	530	2,554	146	117	2,653	0	347	6,347
	学生 Students	3,595	4,185	530	87	4,686	337	2,955	16,375
	学外者 Others	925	866	189	12	116	0	1,207	3,315
	合計 Total	5,050	7,605	865	216	7,455	337	4,509	26,037
	所在調査 Holdings	729	3,690	272	39	3,236	0	3,607	11,573
	事項調査 Topics	172	271	24	128	168	0	225	988
	利用指導・その他 Instructions /Others	4,149	3,644	569	49	4,051	337	677	13,476
合計 Total	5,050	7,605	865	216	7,455	337	4,509	26,037	

*伊都図書館には六本松分室(H21.4~8)を含む *医学図書館・筑紫図書館については、ICカード所持者に対し、24時間365日開館した。

電子ジャーナルの利用 (主要パッケージのフルテキストダウンロード数)

E-Journals Full-text downloads in major e-Journal package

2009.1.1-12.31

パッケージ名称 Service	利用件数 Downloads	パッケージ名称 Service	利用件数 Downloads
American Chemical Society (ACS)	247,826	Nature Site License	108,413
American Institute of Physics (AIP)	38,789	ProQuest Research Library	11,732
American Physical Society (APS)	44,235	ProQuest Health & Medical Complete	6,737
CiNii *	185,572	SpringerLink	107,158
Elsevier Science Direct Freedom Collection	856,662	Taylor & Francis	21,009
Journals@Ovid	5,598	Wiley InterScience	194,004
Karger	8,524	合計 Total	1,836,259

※国内誌

情報検索サービスの利用

Databases

2009.1.1-12.31

種別 Type	サービス名 Database name	説明 Description	検索回数 Searches	セッション数 Sessions
きゅうとサービス Cute services	きゅうとOPAC	九大所在情報	1,770,768	-
	きゅうとLinQ	リンクリゾルバ	529,919	-
	きゅうとE-Journals	電子ジャーナル集	202,004	-
	きゅうとMyLibrary	図書館ポータル	-	48,003
文献情報 Abstracts & index databases	RefWorks	文献管理ツール	-	8,748
	CiNii	全分野 (国内)	434,833	95,488
	Web of Science (Web of Knowledge)	全分野	311,999	63,744
	Scopus	自然・社会科学	229,026	64,085
	SciFinder	化学	128,728	35,839
	医中誌Web	医学 (国内)	99,654	33,320
	JDream II	自然科学	23,987	7,855
	MEDLINE (Ovid)	医学	13,207	2,685
	PsycINFO (Ovid)	心理学	7,165	1,720
	Econlit (EBSCOhost)	経済学	4,357	1,490
	CINAHL (EBSCOhost)	看護学	3,825	748
事典類 References	EBM Reviews (Ovid)	医学	754	359
	ERIC (Ovid)	教育学	88	103
	日国Online	(国内) ※	18,886	3,189
	Japan Knowledge	(国内) ※	4,339	1,412
	日本歴史地名大系	(国内) ※	1,802	684
	Marquis Who's Who on the Web		1,096	-
新聞 Newspaper articles	Gale Virtual Reference Library		642	426
	理科年表プレミアム	(国内)	-	259
インパクトファクター Impact factor	Journal Citation Reports [JCR] (Web of Knowledge)	自然科学	22,858	23,322

※検索回数は2009/4/10～のデータ

学内配送サービスの利用 (図書の貸出・返却に学内配送システムを利用した回数)

Inter-campus book delivery

平成21(2009)年度

から from	へ to	中央図書館 Central Lib.	文系合同図書室 Human. & Soc. Sci. Lib.	医学図書館 Medical Lib.	芸術工学図書館 Design Lib.	筑紫図書館 Chikushi Lib.	伊都図書館 Ito Lib.	嚶鳴天空広場 Q-Commons	六本松分室※ Ropponmatsu branch	計 Total
中央図書館 Central Lib.			2,936	689	1,864	592	6,050	150	386	12,667
文系合同図書室 Human. & Soc. Sci. Lib.		3,922		196	596	71	1,722	86	307	6,900
医学図書館 Medical Lib.		935	157		190	100	578	21	22	2,003
芸術工学図書館 Design Lib.		1,805	649	191		266	1,303	60	54	4,328
筑紫図書館 Chikushi Lib.		633	71	119	237		810	8	14	1,892
伊都図書館 Ito Lib.		5,168	1,528	476	1,050	689		262	371	9,544
嚶鳴天空広場 Q-Commons		238	134	24	87	9	1,597		37	2,126
六本松分室※ Ropponmatsu branch		376	277	16	55	13	444	100		1,281
計 Total		13,077	5,752	1,711	4,079	1,740	12,504	687	1,191	40,741

※注 六本松分室は21.8.31をもって閉室

統計 = 基盤サービス = Statistics

図書・雑誌(冊子体)の受入 Current acquisitions of materials

平成21(2009)年度

		図書受入冊数 Current acquisitions of books (冊)			雑誌受入種類数(冊子体) Current serials title (種)		
		和漢書 CJK	洋書 Western	計 Total	和雑誌 CJK	洋雑誌 Western	計 Total
中央図書館	中央図書館 Central Library	9,914	1,459	11,373	1,945	154	2,099
	理学研究院 Faculty of Sciences	465	273	738	397	366	763
	農学研究院 Faculty of Agriculture	1,170	620	1,790	1,560	772	2,332
	小計 Central Library Total	11,549	2,352	13,901	3,902	1,292	5,194
医学図書館	医学分館 Medical Library	921	1,083	2,004	757	583	1,340
	医学研究院 Faculty of Medical Sciences	348	343	691	24	14	38
	歯学研究院 Faculty of Dental Science	0	0	0	24	21	45
	薬学研究院 Faculty of Pharmaceutical Sciences	72	5	77	5	4	9
	生体医学研究所 Medical Institute of Bioregulation	3	5	8	0	2	2
	病院(医・歯) University Hospital	85	99	184	93	106	199
	小計 Medical Library Total	1,429	1,535	2,964	903	730	1,633
芸術工学図書館	Design Library	4,248	329	4,577	648	118	766
筑紫図書館	筑紫分館 Chikushi Library	386	139	525	240	53	293
	総合理工学研究院 Faculty of Engineering Sciences	39	13	52	16	0	16
	応用力学研究所 Research Institute for Applied Mechanics	0	0	0	21	3	24
	先端物質化学研究所 Institute for Materials Chemistry and Engineering	5	5	10	1	0	1
	健康科学センター Institute of Health Science	18	7	25	23	14	37
	小計 Chikushi Library Total	448	164	612	301	70	371
伊都図書館	伊都図書館 Ito Library	5,060	679	5,739	545	43	588
	比較社会文化研究院 Faculty of Social and Cultural Studies	2,552	1,007	3,559	176	74	250
	言語文化研究院 Faculty of Languages and Cultures	817	404	1,221	24	59	83
	数理学研究院 Faculty of Mathematics	211	2,003	2,214	40	434	474
	工学研究院 Faculty of Engineering	272	362	634	203	200	403
	システム情報科学研究院 Faculty of Information Science and Electrical Engineering	313	145	458	76	54	130
	小計 Ito Library Total	9,225	4,600	13,825	1,064	864	1,928
文系合同図書室	文学部 School of Letters	4,796	1,664	6,460	2,504	316	2,820
	教育学部 School of Education	559	114	673	710	93	803
	法学研究院 Faculty of Law	4,500	1,946	6,446	682	312	994
	経済学研究院 Faculty of Economics	1,394	921	2,315	637	226	863
	人環 都市・建築学部門 Faculty of Human-Environment Studies, Dep. of Arch. & Urban Design	198	57	255	49	38	87
	小計 Humanities and Socialsciences Library Total	11,447	4,702	16,149	4,582	985	5,567
生体防御医学研究所(別府) Medical Institute of Bioregulation (Beppu)	0	0	0	89	24	113	
記録資料館 Manuscript Library	589	7	596	412	3	415	
情報基盤研究開発センター Research Institute for Information Technology	5	6	11	2	2	4	
合計 Total		38,940	13,695	52,635	11,903	4,088	15,991

(注1) 図書受入数及び雑誌受入種類数は、図書館・室の単位で大区分を行い、その中を部局・附属研究所・全国共同利用施設の単位で展開している。学内共同教育研究施設及び学内共同利用施設等の受入数については、それらの施設の事務処理を行う館・室の項目に計上している。

(注2) 図書受入冊数は、資産として受入された図書の冊数である。

資料費 Expenditures for library materials

平成21(2009)年度
(単位:千円/thousand yen)

		図書費 Books	雑誌・新聞費 Serials	電子ジャーナル等 Electronic resources	その他 Others	資料費総額 Total
中央図書館	Central Library	172,144	62,678	506,553	3,638	745,013
医学図書館	Medical Library	26,122	19,899	8,288	1,947	56,256
芸術工学図書館	Design Library	14,406	6,925	164	3,089	24,584
筑紫図書館	Chikushi Library	16,603	4,182	0	78	20,863
伊都図書館	Ito Library	115,801	69,624	0	1,635	187,060
文系合同図書室	Humanities and Social Sciences Library	144,612	41,584	19,658	6,041	211,895
生体防衛医学研究所(別府)	Medical Institute of Bioregulation(Bappu)	0	337	95	0	432
記録資料館	Manuscript Library	2,549	159	0	151	2,859
情報基盤研究開発センター	Research Institute for Information Technology	451	17	3,197	3	3,668
合計	Total	492,688	205,405	537,955	16,582	1,252,630

(注1) 全学共通の電子ジャーナルは、一括して中央図書館に計上。
(注2) その他は、視聴覚資料・製本費等、その他の資料に関する費用。

電子ジャーナル E-Journals

平成22(2010)年5月1日現在

アクセス可能な電子ジャーナル(無料誌含む) Accessible e-Journals (including free titles)

純タイトル数 Unique titles **48,325**

契約タイトル数 Licensed e-Journals

平成22(2010)年度

出版社等 Publisher	タイトル数 Titles	出版社等 Publisher	タイトル数 Titles
American Chemical Society (ACS)	38	Karger	78
American Institute of Physics (AIP)	12	LexisNexis: Academic & lexis.com	7,645
American Physical Society (APS)	8	Lippincott Williams and Wilkins (LWW)	19
American Society of Mechanical Engineers (ASME)	25	Medical Online Library (MOL) *	777
Association for Computing Machinery: ACM Portal	436	Nature Publishing Group	24
Cambridge University Press	22	Oxford University Press	234
Cell Press	7	ProQuest Research Library	4,250
Chemical Society of Japan (CSJ) *	2	ProQuest Health & Medical Complete	1,774
CiNii *	417	Science	1
EBSCOhost: Business Source Premier	9,009	SourceOECD	28
EBSCOhost: EconLit with Full Text	523	SpringerLink	1,722
Elsevier Science Direct	1,783	Taylor & Francis	118
IEEE: ASPP Online, POP Online	269	UniBioPress *	6
IEICE *	8	University of Chicago Press	11
Institute of Physics (IOP)	12	Wiley InterScience	1,251
Institute of Pure and Applied Physics (IPAP) *	1	World Scientific Publishing	18
Journals@Ovid	7	その他	581
JSTOR: Arts & Sciences Collection I-II	362		
合計	Total	合計	Total
			31,478

(注) 契約タイトル数は、出版者間の重複を含む延べタイトル数である。

※国内誌

蔵書数 Holdings

平成22(2010)年3月31日現在

	図書所蔵冊数 Books (冊)			雑誌所蔵種類数 Serials (種)			
	和漢書 CJK	洋書 Western	計 Total	和漢書 CJK	洋書 Western	計 Total	
中央図書館	578,478	359,492	937,970	18,002	11,829	29,831	
医学図書館	143,117	208,395	351,512	3,438	8,918	12,356	
芸術工学図書館	119,462	50,826	170,288	1,995	1,027	3,022	
筑紫図書館	64,134	78,461	142,595	1,517	1,196	2,713	
伊都図書館	478,937	442,261	921,198	8,575	8,291	16,866	
文系合同図書室	802,527	603,277	1,405,804	17,172	8,393	25,565	
生体防衛医学研究所(別府)	6,913	13,487	20,400	290	346	636	
記録資料館	51,250	3,914	55,164	1,593	32	1,625	
情報基盤研究開発センター	2,655	8,442	11,097	42	85	127	
合計	Total	2,247,473	1,768,555	4,016,028	52,624	40,117	92,741

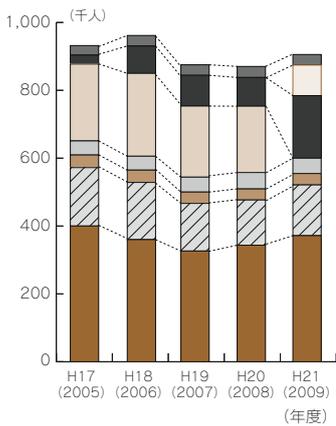
(注1) 図書蔵書冊数は、資産として登録された図書の冊数である。

統計 = 推移と分析 = Statistics

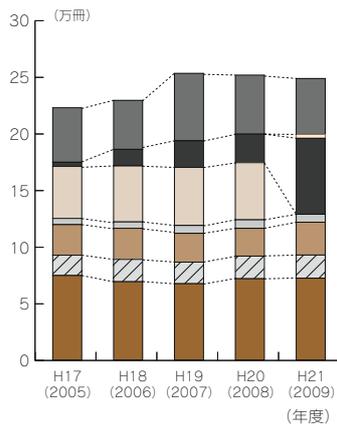
■ 利用サービスの推移



入館者数



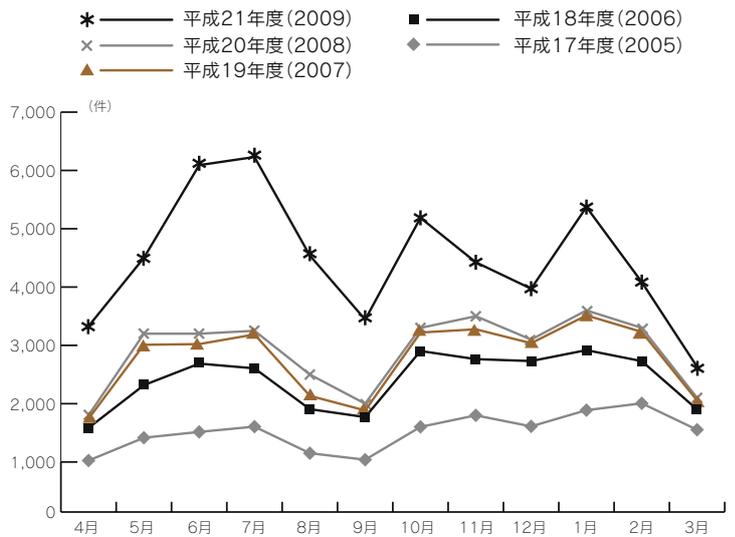
貸出冊数



全館を通しての入館者数は前年度より増加しており、貸出冊数についてもこの3年間高い水準を維持しています。特に旧六本松図書館の全学教育関連資料を継承した伊都図書館は入館者・貸出冊数ともに大幅に増加しました。また、伊都キャンパスに新設された嘸鳴天空広場Q-Commonsは、図書館の新しい情報提供エリアとして多くの入館利用がありました。

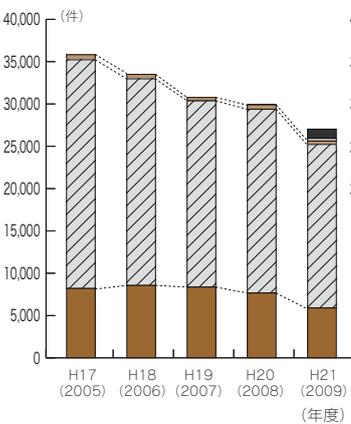
21年度は教育情報システムのiMac/パソコン導入、きょうと commons のオープンと図書館の施設・設備が充実しました。また、入館ゲートのリニューアルと入館や貸出の全学共通ICカード対応により、これまで以上に快適な利用が可能となったことも利用者数の増加に好影響を与えていると考えられます。

学内配送サービス利用件数の推移

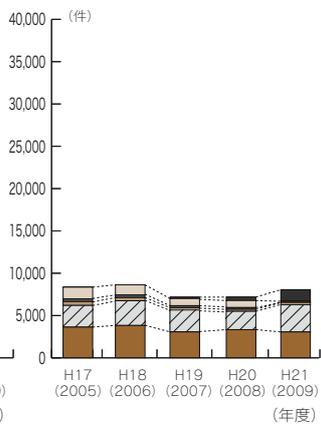


学内配送サービスはすべての月で前年度を上回りました。全体件数は前年度の約1.5倍で、特に6~7月は前年度比でほぼ倍増となっています。これまで年々増加を続けていた全体件数でしたが、今年度は特にこれまでを著しく上回る増加(運用当初の年間件数を超える件数)となりました。学内配送サービスが利用者の間に定着してきたのに加えて、図書館システム更新による予約や取寄せといった遠隔サービスの充実が貢献していると考えられます。

文献複写件数【受付】



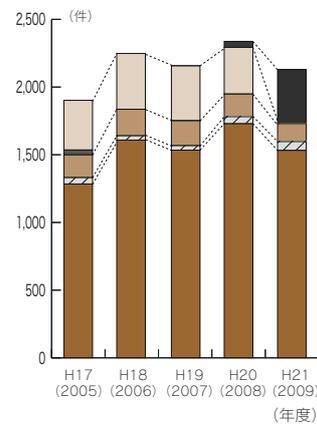
文献複写件数【依頼】



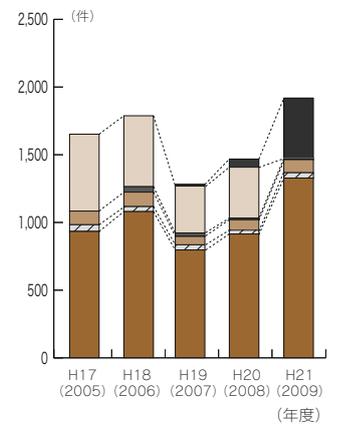
受付(学外機関への文献コピーの提供)は、伊都図書館で受付が開始されましたが全体として減少しています。これは、各大学における電子ジャーナルのアクセス環境が向上していることが要因と考えられます。

依頼(学外機関からの文献コピーの取寄せ)は、21年度より私費のサービスを開始した伊都図書館や、医学図書館で増加し、全体として1割強の増加となりました。

相互貸借件数【受付】



相互貸借件数【依頼】

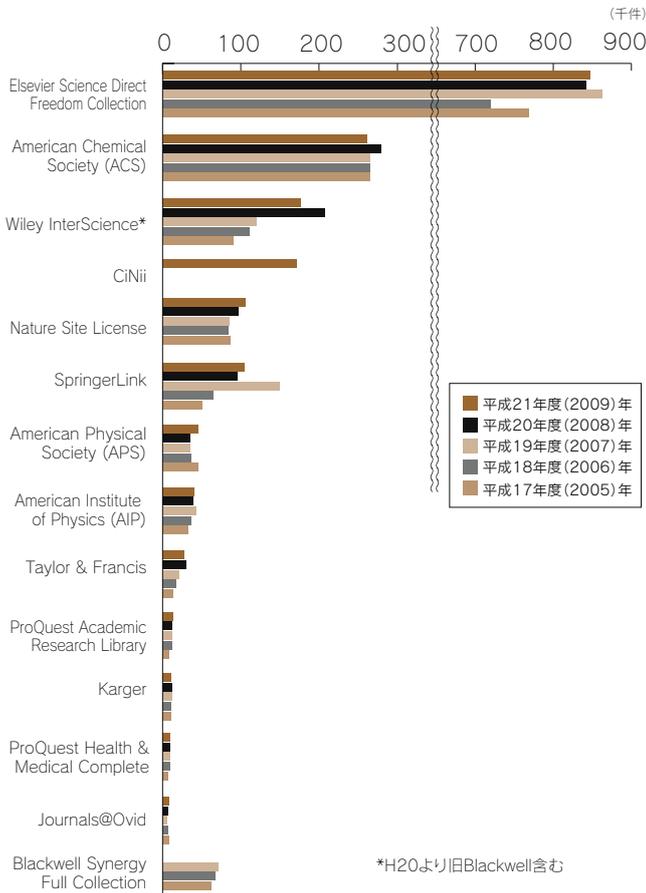


受付(学外機関への図書の貸出)は、全体として大きな変化はなく、依頼(学外機関からの図書借受)は、中央図書館、伊都図書館で増加し、全体として3割強の増加となりました。旧六本松図書館に代わり、伊都図書館の件数の増加が顕著に表れています。

電子ジャーナルと情報検索サービスの利用の推移

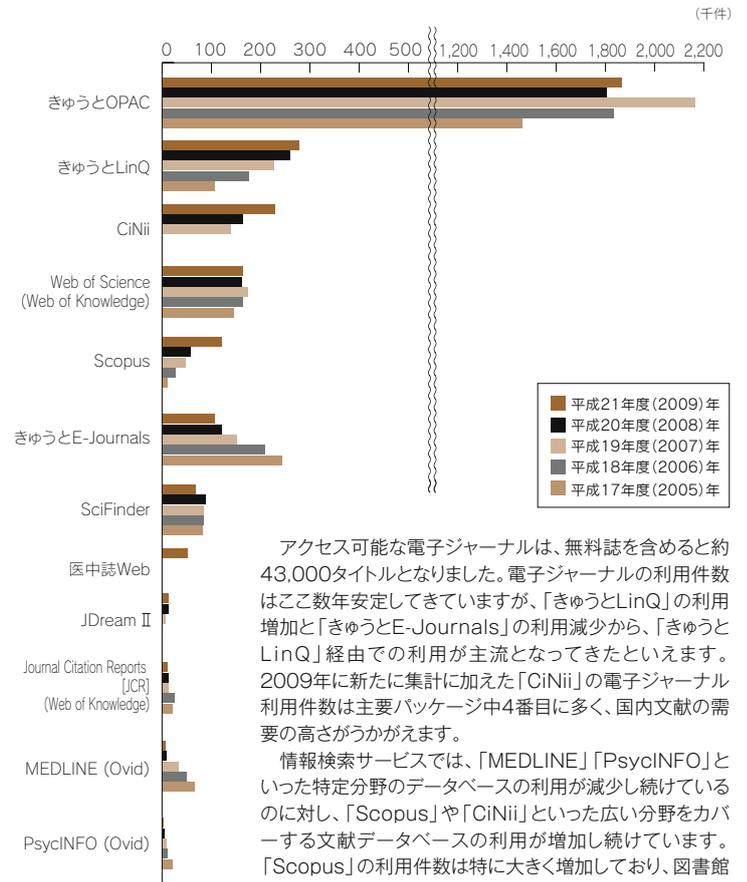
電子ジャーナルの利用

主要パッケージの利用件数



情報検索サービスの利用

主要データベースの検索回数

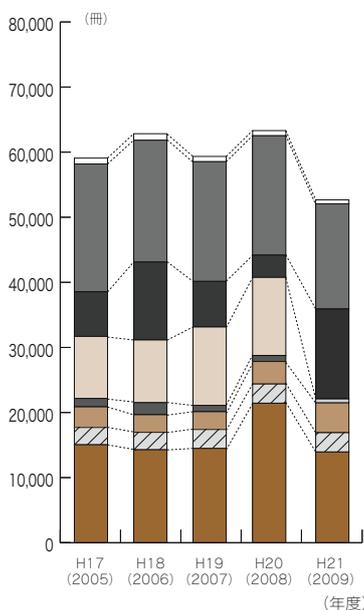


アクセス可能な電子ジャーナルは、無料誌を含めると約43,000タイトルとなりました。電子ジャーナルの利用件数はここ数年安定してきていますが、「きゅうとLinQ」の利用増加と「きゅうとE-Journals」の利用減少から、「きゅうとLinQ」経由での利用が主流となってきたといえます。2009年に新たに集計に加えた「CiNii」の電子ジャーナル利用件数は主要パッケージ中4番目に多く、国内文献の需要の高さがうかがえます。

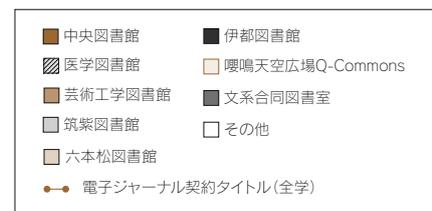
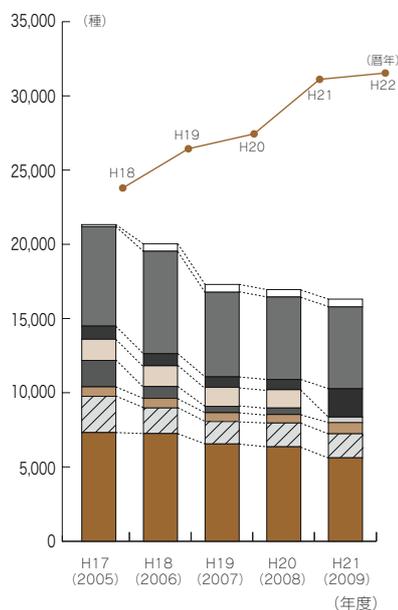
情報検索サービスでは、「MEDLINE」「PsycINFO」といった特定分野のデータベースの利用が減少し続けているのに対し、「Scopus」や「CiNii」といった広い分野をカバーする文献データベースの利用が増加し続けています。「Scopus」の利用件数は特に大きく増加しており、図書館で開催した講習会により新たな利用者が増えたものと考えられます。

資料受入の推移

図書受入冊数



雑誌受入種類数

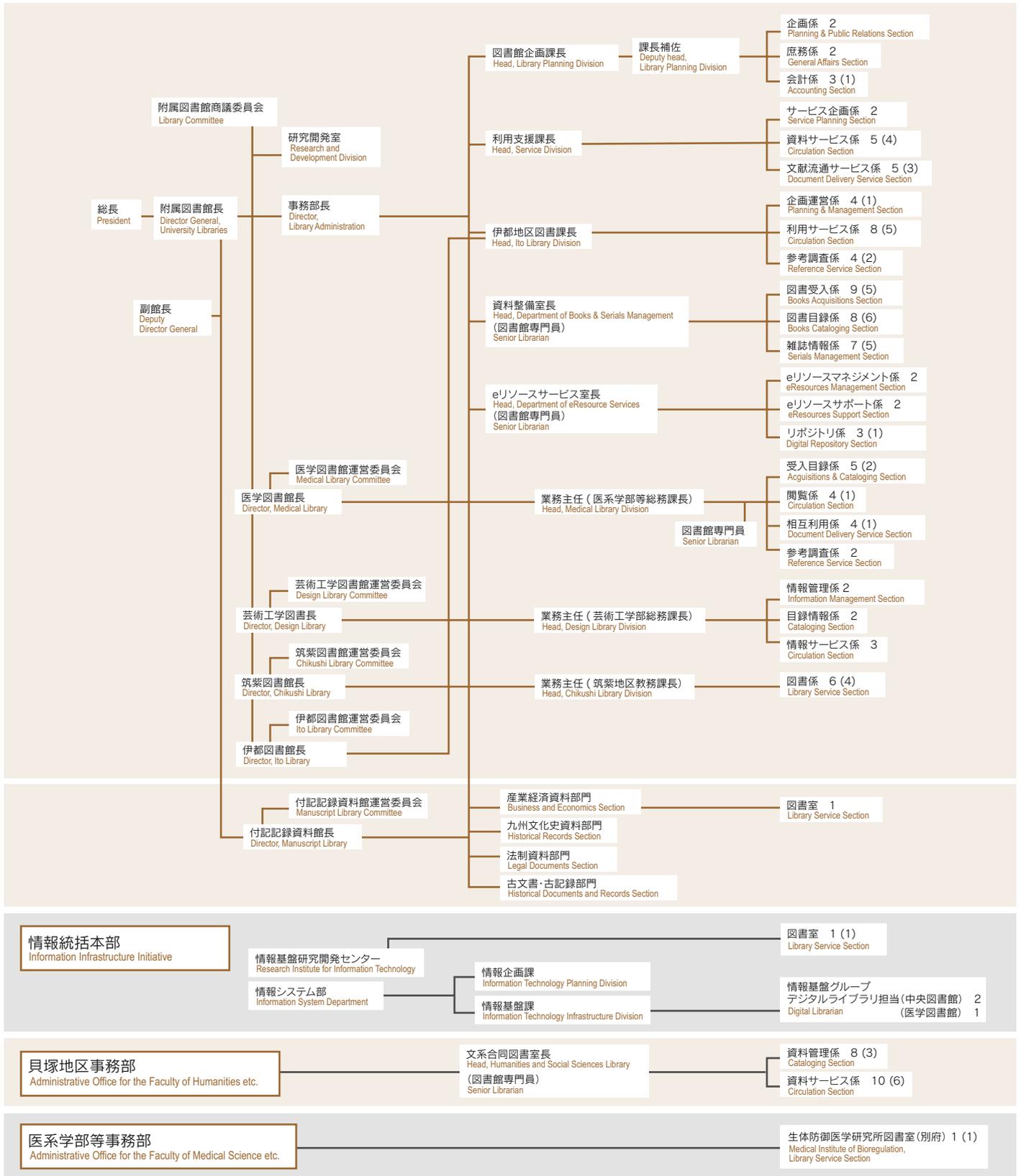


図書については、前年度まで移転のために集中的な雑誌製本・資料整備作業等を行ってきましたが、伊都図書館への資料移転が落ち着いたことにより、受入冊数が減少しました。

雑誌については、電子ジャーナル契約数の更なる増加に伴い、冊子体雑誌受入数の減少傾向が続いています。

組織 Organization

(平成22年4月1日現在)



区分	事務部長	課長	課長補佐	図書館専門員	係長/専門職員	係員等	合計
職員数	1	3	1	4	23	95 (52)	127

※ 注) 情報統括本部情報システム部のデジタルライブラリ担当を含む。() 内は事務補佐員で内数。

附属図書館長・副館長・分館長等

平成22年4月1日現在

附属図書館長	丸野 俊一	理事・副学長	筑紫図書館長	林 徹夫	総合理工学研究院 教授
副館長	吉田 素文	医学研究院 教授	伊都図書館長	和田 清	システム情報科学研究院 教授
医学図書館長	吉田 眞一	医学研究院 教授	記録資料館長	三輪 宗弘	記録資料館 教授
芸術工学図書館長	佐藤 優	芸術工学研究院 教授	事務部長	濱崎 修一	

附属図書館商議委員会

平成22年4月1日現在

委員長

丸野 俊一 理事・副学長 附属図書館長

委員

吉田 素文	医学研究院 教授	副館長	隠居 良行	数理学研究院 教授
吉田 眞一	医学研究院 教授	医学図書館長	森下 昌紀	〃
佐藤 優	芸術工学研究院 教授	芸術工学図書館長	岩城 徹	医学研究院 教授
林 徹夫	総合理工学研究院 教授	筑紫図書館長	笹栗 俊之	〃
和田 清	システム情報科学研究院 教授	伊都図書館長	横山 武志	歯学研究院 教授
三輪 宗弘	記録資料館 教授	記録資料館長	山下 喜久	〃
青柳 睦	情報基盤研究開発センター 教授	情報基盤研究開発センター長	片山 勉	薬学研究院 教授
吾郷 眞一	副学長・留学生センター長		植田 正	〃
淵田 吉男	高等教育開発推進センター 教授	高等教育開発推進センター長	近藤 孝広	工学研究院 教授
竹村 則行	人文科学研究院 教授		石橋 健二	〃
神寶 秀夫	〃		河辺 哲次	芸術工学研究院 教授
吉田 昌彦	比較社会文化研究院 教授		藤原 恵洋	〃
清水 靖久	〃		櫻井 幸一	システム情報科学研究院 教授
関 一敏	人間環境学研究院 教授		船木 和夫	〃
堀 賀貴	〃		小山 繁	総合理工学研究院 教授
直江 眞一	法学研究院 教授		内野喜一郎	〃
七戸 克彦	〃		山下 昭二	農学研究院 教授
大坂 仁	経済学研究院 教授		伊東 正一	〃
関 源太郎	〃		山崎 晶	生体防御医学研究所 教授
羽賀 賢二	言語文化研究院 教授		新川 和夫	応用力学研究所 教授
松村 瑞子	〃		佐藤 治	先導物質化学研究所 教授
荒殿 誠	理学研究院 教授		一宮 厚	健康科学センター 教授
佐野 弘好	〃		濱崎 修一	附属図書館事務部長

所属する図書館関係団体と九州大学の役割

附属図書館

国立大学図書館協会 理事館(全国の国立大学図書館 会員館数:91)
九州地区国立大学図書館協会 代表館(九州地区の国立大学図書館 加盟館:11)
九州地区大学図書館協議会 幹事館(九州地区の国公立大学図書館 加盟館:78)
福岡県図書館協会 副会長(理事):館長(福岡県内の大学・公共・学校・専門図書館)
福岡県・佐賀県大学図書館協会(福岡県・佐賀県内の国公立大学図書館)

医学図書館

日本医学図書館協会 評議員館(全国の医学系および病院図書館・図書室)
九州地区医学図書館協議会(九州地区の医学系図書館)

人事異動 Personnel Reshuffle

(平成21年4月1日～22年3月31日)

学外へ転出

	異動後	異動前
4.1	鈴木 秀樹 東京大学附属図書館情報サービス課長	コンテンツ整備課長
4.1	山田 周治 京都大学附属図書館情報管理課長	利用支援課長
5.1	井上 創造 九州工業大学大学院工学研究科准教授	研究開発室准教授

中央図書館

	異動後	異動前
4.1	濱崎 修一 事務部長(有期契約職員)	(採用)
	飯田 昇平 利用支援課長	大分大学 研究・社会連携部 学術情報課長
	安永振一郎 図書館専門員 兼)資料整備室長・図書目録係長	医)受入目録係長
	江島香代子 企)課長補佐	企)課長補佐 兼)会計係長
	上田 弥穂 企)会計係長	財務部調達課調達総括係主任
	江藤 弘史 利)サービス企画係長	利)サービス企画係長 兼)資料サービス係長
	中尾 康朗 利)資料サービス係長	国立国会図書館
	大瀧 礼二 資)図書受入係長	コ)図書情報係長
	河上 章彦 資)雑誌情報係長	コ)雑誌情報係長
	吉松 直美 e)リポジトリ係長	コ)電子化係長
	井川友利子 利)サービス企画係	宮崎大学学術協力部情報図書課本館利用係
	小柳 貴俊 資)図書受入係	コ)図書情報係
	宮嶋 舞美 資)図書受入係	コ)図書情報係
	詫間沙由香 資)雑誌情報係	コ)雑誌情報係
	山根 泰志 資)図書目録係	コ)電子化係
	星子 奈美 e)リポジトリ係	コ)電子化係
	鳥居 愛 資)図書受入係	六)レファレンス係
	徳元美智子 資)図書目録係	六)図書情報係
	藤原 愛子 資)図書受入係事務補佐員	コ)図書情報係事務補佐員
	一木 隆子 資)図書受入係事務補佐員	コ)図書情報係事務補佐員
	長野 玲奈 利)資料サービス係事務補佐員	利)サービス企画係事務補佐員
	森永 恵子 資)図書受入係事務補佐員	コ)図書情報係事務補佐員
	藤原 園江 資)図書受入係事務補佐員	コ)図書情報係事務補佐員
	今泉登美子 資)図書受入係事務補佐員	利)文献流通サービス係事務補佐員
	渡辺 優子 資)図書目録係事務補佐員	コ)図書情報係事務補佐員
	天野 美保 資)図書目録係事務補佐員	コ)図書情報係事務補佐員
	長野 心み 資)図書目録係事務補佐員	コ)図書情報係事務補佐員
	福田 英美 資)図書目録係事務補佐員	コ)図書情報係事務補佐員
	吉田 陽子 資)図書目録係事務補佐員	コ)電子化係事務補佐員
	篠崎 美保 資)図書目録係事務補佐員	記録資料館九州文化史資料部門事務補佐員
	川元 亜矢 資)雑誌情報係事務補佐員	コ)雑誌情報係事務補佐員
	末信友美子 資)雑誌情報係事務補佐員	コ)雑誌情報係事務補佐員
	遠藤 愛 資)雑誌情報係事務補佐員	コ)雑誌情報係事務補佐員
	原田真理子 資)雑誌情報係事務補佐員	コ)雑誌情報係事務補佐員
	田中 愛子 資)雑誌情報係事務補佐員	利)資料サービス係事務補佐員
	吉峯かおり e)リポジトリ係事務補佐員	コ)電子化係事務補佐員
5.14	渡辺 優子 (育児休業)	資)図書目録係事務補佐員
6.1	吉田紗弥香 資)図書目録係事務補佐員	(採用)
7.1	安部恵里香 e)eリソースマネジメント係事務補佐員	(採用)
8.1	馬場 謙介 研究開発室准教授	(採用)
9.16	香川 朋子 (育児休業)	e)eリソースマネジメント係
	安部恵里香 e)eリソースマネジメント係有期事務職員	e)eリソースマネジメント係事務補佐員
1.10	天野 美保 (育児休業)	資)図書目録係事務補佐員
3.1	今村 笑 資)図書目録係事務補佐員	(採用)
3.17	吉田紗弥香 (退職)	資)図書目録係事務補佐員
3.18	渡辺 優子 資)図書目録係事務補佐員	(職場復帰)
3.31	安部恵里香 (退職)	e)eリソースマネジメント係有期事務職員
	吉峯かおり (退職)	e)リポジトリ係事務補佐員

医学図書館

	異動後	異動前
4.1	吉田 真一 医学図書館長	
	諸岡 静児 受入目録係長	理)サービス係長
	中野由紀夫 相互利用係長	六)レファレンス係長
	城戸 弦太 相互利用係	閲覧係
	下野 美幸 相互利用係	(採用)
	田村 雅生 閲覧係(特定有期事務職員)	(採用)
8.1	相部久美子 閲覧係	芸)情報サービス係
11.1	田代いずみ (配置換)医療情報部事務補佐員	閲覧係事務補佐員
	塩田 麻実 閲覧係事務補佐員	(採用)
3.31	林田 和政 (定年退職)	図書館専門員
	緒方 義信 (退職)	受入目録係

芸術工学図書館

	異動後	異動前
4.1	石村 真一 芸術工学図書館長	
8.1	塚本 佳奈 目録情報係	文)資料管理係
8.1	金丸委津子 情報サービス係	目録情報係
9.30	石村 真一 (退任)	図書館長
10.1	佐藤 優 図書館長	
3.31	松永 由紀 (定年退職)	目録情報係長

筑紫図書館

4.1	篠田 繁寿 図書係	文)資料管理係
3.31	西島 徹 (定年退職)	図書係長

伊都図書館

	異動後	異動前
4.1	和田 清 伊都図書館長	理系図書館長
	堀之口廣教 伊都地区図書課長	理)図書館専門員
	井ノ上俊哉 利用サービス係長 兼)参考調査係長	六)利用サービス係長
	田中由紀子 企画運営係長	六)図書情報係長
	日高 環 企画運営係	企)企画係
	宮岡 大輔 企画運営係	理)サービス係
	岡本 順子 利用サービス係	理)サービス係
	法常 知子 利用サービス係	理)サービス係
	松石 健祐 参考調査係	六)図書情報係
	芦北 卓也 参考調査係	理)サービス係
	本園由美子 企画運営係事務補佐員	六)図書情報係事務補佐員
	和田 真澄 参考調査係事務補佐員	六)利用サービス係事務補佐員
	近藤ゆかり 企画運営係事務補佐員	六)図書情報係事務補佐員
	吉武 啓子 利用サービス係事務補佐員	理)サービス係事務補佐員
	藤本 和恵 利用サービス係事務補佐員	理)サービス係事務補佐員
	藤野 佳子 利用サービス係事務補佐員	六)利用サービス係事務補佐員
	森 恵 利用サービス係事務補佐員	六)図書情報係事務補佐員
	吉開 新子 利用サービス係事務補佐員	理)サービス係事務補佐員
	村山みな代 利用サービス係事務補佐員	理)サービス係事務補佐員
	熊谷 由紀 参考調査係事務補佐員	六)図書情報係事務補佐員
	渡邊龍之助 利用サービス係事務補佐員	(採用)
	原田 盛一 利用サービス係事務補佐員	(採用)
	中軽米明子 利用サービス係事務補佐員	(採用)
	江口由由子 利用サービス係事務補佐員	(採用)
8.31	中軽米明子 (退職)	利用サービス係事務補佐員
	江口由由子 (退職)	利用サービス係事務補佐員
9.30	渡邊龍之助 (退職)	利用サービス係事務補佐員
10.1	原田 盛一 (配置換)貝塚地区教務課 学生第二係事務補佐員	利用サービス係事務補佐員
3.31	藤野 佳子 (退職)	利用サービス係事務補佐員

記録資料館 産業経済資料部門

2.1	篠崎 美保 (配置換)事務補佐員	資)図書目録係事務補佐員
3.31	三浦 壮 (退職)	助教

情報システム部情報基盤課

3.31	三浦 誠 (定年退職)	デジタルライブラリ担当専門職員
------	-------------	-----------------

文系合同図書室

	異動後	異動前
4.1	尾上 五男 図書館専門員 兼)文系合同図書室長	資料管理係長
	山口 良子 資料管理係長	長崎大学学術情報部学術情報サービス課学術情報サービス班主査
	大村 武史 資料管理係	利)資料サービス係
5.1	古沢 恒平 資料管理係事務補佐員	(採用)
7.1	阪口 心志 資料サービス係事務補佐員	(採用)
7.12	平良 香 (育児休業)	資料サービス係
7.13	阪口 心志 資料サービス係有期事務職員	資料サービス係事務補佐員
8.1	立園恵巳子 資料管理係	医)閲覧係
3.31	入江いつ子 (定年退職)	資料管理係
	井上 久宏 (退職)	資料サービス係
	小野佳代子 (定年退職)	資料管理係事務補佐員
	小林かおる (退職)	資料サービス係事務補佐員

- 企) 図書館企画課
- 利) 利用支援課
- コ) コンテンツ整備課
- 資) 資料整備室
- e) eリソースサービス室
- 医) 医学図書館
- 芸) 芸術工学図書館
- 筑) 筑紫図書館
- 文) 文系合同図書室
- 六) 六本松分館
- 理) 理系図書館

出版物

◆ 附属図書館発行

- 『九州大学附属図書館年報2008/2009』(2009.5)
- 『九州大学附属図書館要覧』(2009.10)
- 『九州大学附属図書館研究開発室年報2008/2009』(2009.10)
- 『ぎゅうとNEWSLETTER』
- Vol.4, No.1(2009.4),Vol.4, No.2(2009.7),Vol.4, No.3(2009.10), Vol.4, No.4(2010.1)



◆ 付設記録資料館発行

- 『九州大学附属図書館付設記録資料館ニューズレターVol.4』(2010.3)

◆ 付設記録資料館産業経済資料部門発行

- 『石炭研究資料叢書 No.31』(2010.2)
- 『エネルギー史研究 No.25』(2010.3)



貴重書の学外での展示

資料名	所蔵館	展示会名	展示会場
筑紫紀行	中央図書館	あなたの近くの文化財「太宰府市民遺産」展(H21.7.17~8.16)	太宰府市文化ふれあい館
御笠郡国分村軸帳(天保十一歳)	文系合同(法)	あなたの近くの文化財「太宰府市民遺産」展(H21.7.17~8.16)	太宰府市文化ふれあい館

貴重書の出版物への掲載・TV等での放映

出版物への掲載

資料名	所蔵館	掲載資料名	出版社
機巧図彙	中央図書館(桑木文庫)	図説江戸の科学力 / 大石学監修 (歴史群像シリーズ)	学習研究社(H21.4)
異称日本伝	文系合同(文)	対馬: 朝鮮外交への道: 海神の島大陸交流のかけ橋 / 長崎文献社編集(旅する長崎学)	長崎文献社(H21.4)
シーボルト[NIPPON]	医学図書館	世界百不思議(No.17)	講談社(H21.7.)
Montanus「Atlas Japannensis」他	中央図書館	ケンペルやシーボルトたちが見た九州、そしてニッポン / 宮崎克則, 福岡アーカイブ研究会編	海鳥社(H21.8)
仙崖和尚の図画	文系合同(文)	文藝春秋SPECIAL 秋号	文芸春秋 (H21.8)
長崎版画集	中央図書館	週刊「名將の決断」28号	朝日新聞出版(H21.9)
シーボルト[NIPPON]	医学図書館	図説武雄・鹿島・嬉野・杵島・藤津の歴史 / 折井克比古 [ほか] 編集(佐賀県の歴史シリーズ)	郷土出版社 (H21.10)
蒙古襲来絵詞	中央図書館	週刊歴史のミステリー(101号)	ティアゴステイニ (H22.1)
古地図「日本」	中央図書館	フォーラム福岡 (vol.29)	フォーラム福岡編集委員会(H22.1)
画図西遊譚	中央図書館(桑木文庫)	読売新聞平成22年1月5日朝刊紀行欄	読売新聞西部本社(H22.1)
「清楽曲牌雅譜」 外4点	中央図書館(清文庫)	江戸文人と明清楽 / 中尾友香梨著	汲古書院 (H22.2)
十三行古活字版枕双紙	中央図書館(支子文庫)	クイズ日本語の大冒険 1	教育画劇 (H22.2)
日本山海名物図会	中央図書館	まるごとわかる ふるさとおもしろ食への百科 / 向笠千恵子監修	日本図書センター (H22.3)
辨醫断	医学図書館	天然痘予防に挑んだ秋月藩医 緒方春朝 / 富田英壽 著	海鳥社 (H22.3)
蒙古襲来絵詞	中央図書館	江戸の剣豪列伝 / 主婦の友社編	主婦の友社 (H22.3)
日本山海名物図会	中央図書館	イチバン親切な魚料理の教科書 / 川上文代著	新星出版社 (H22.3)
狂歌武蔵野百首 外7点	文系合同(文・富田文庫)	江戸の絵本-画像とテキストが織りなせる世界 / 鈴木淳・浅野秀剛編	八木書店 (H22.3)

TV等での放映

資料名	所蔵館	放送番組	放送局
長崎版画集	中央図書館	めざましどようび(2009.5.9)	フジテレビ
長崎細見之図	記録資料館	「歴史秘話ヒストリア」おれたちは「負け組」じゃない(2009.6.24)	NHK総合
蒙古襲来絵詞	中央図書館	クイズdeチャレンジ! につばみかmini(月~金 12:20~12:25, 2009年度内)	NHKワンセグ独自放送
日本山海名物図会	中央図書館	「お元気ですか日本列島」 気になることは (2009.8.25)	NHK総合
シーボルト[NIPPON]	医学図書館	未来をつくる君たちへ 1(2009.11.15)	NHK総合
建礼門院右京大夫集	中央図書館(細川文庫)	「歴史秘話ヒストリア」新・平家家族物語(2009.12.16)	NHK総合
日本山海名物図会	中央図書館	江戸時代びっくり博物館(2010.2.6)	青森朝日放送
日本山海名物図会	中央図書館	ザ!鉄腕!ダッシュ!!(2010.2.28)	日本テレビ

図書館日誌 Diary

	全学・箱崎地区	医学図書館	芸術工学図書館	筑紫図書館	
H21 (2009) 4	24 貴重文物講習会「旧石炭研究資料センター所蔵の特徴と概要」				1 13 17
5	11 開学記念行事 濱一衛と京劇展 濱文庫の中国演劇コレクション 第50回附属図書館貴重文物展示（～18日） 17 開学記念公開講演会「濱一衛の見た北京と京劇」「濱文庫の唱本と明清楽資料」 19 図書館職員初任者研修（～22日） 22 貴重文物講習会「シャルル・ペラと古文書学校 一ペラ文庫によせて」 25 中央図書館図書資料選定委員会(第1回)	19 平成21年度外国雑誌センター館会議		16 オープンキャンパス「筑紫キャンパス遺跡の出土品」展	
6	11 台湾:台湾大学図書館訪問、シンポジウムにて図書館サービスにおける情報技術の活用について発表（～13日） 19 貴重文物講習会「九大キャンパスの貴重建築物Ⅰ」 22 学術情報セミナー「学術情報流通の現在と未来」		18 第1回芸術工学図書館運営委員会	10 第1回筑紫図書館運営委員会	
7	1 目録システム講習会(雑誌)（～3日） 5 九州地区国立大学法人等職員採用事務系(図書業務)二次専門試験 9 韓国:ソウル大学校図書館視察・館長表敬・賞書更新(～11日) 24 貴重文物講習会「文学部日本史学研究室の中世文書」		23 教員著作物に係る講演会(土居教授)	16 第1回筑紫図書館図書資料選定委員会	31
8	21 貴重文物講習会「九大キャンパスの貴重建築物Ⅱ」 28 中国東北部図書館調査(～9/4) 31 学生用図書選定委員会中央図書館分科会(第1回)	3 第1回医学図書館運営委員会	6 第2回芸術工学図書館運営委員会 10 芸術工学図書館長候補者選挙会及び選考		3 4 5 31
9	14 九大インターンシップ受入(～18日)	10 第2回医学図書館運営委員会(電子メールによる書面会議)	24 教員著作物に係る講演会(古賀准教授)		1 28
10	10 講演会「仙厓と中山森彦博士」(於:福岡市美術館) 15 CSI委託事業「持続可能な機関リポジトリのための人材進化構造」第3回講習会（～16日） 20 中学生職場体験学習(和白丘中)(～22日) 23 貴重文物講習会「中央図書館にある筑前国絵図」	9 第57回九州地区医学図書館協議会総会		27 常設展示「九州大学筑紫キャンパスの歴史散歩ー昔も今も学術交流の拠点ー」オープン記念式典	1
11	1 訪問研究員(韓国)受け入れ(～平成22年10月31日) 20 貴重文物講習会「朝鮮本の面白さ:和本とも唐本とも異なる本の世界」 22 ドイツ:学術情報の電子的発信・貴重資料の電子化に関する最新動向視察(～29日)		30 第3回芸術工学図書館運営委員会		
12	10 シンポジウム・展示会「九州大学所蔵の史資料ー過去・現在・未来ー」(～13日) 18 貴重文物講習会「日本古典籍画像データベースについて」 28 貴重書庫等燻蒸作業(～1/3)	11 第18回九州地区医学図書館員セミナー			22
H22 (2010) 1	21 CSI委託事業「持続可能な機関リポジトリのための人材進化構造」第4回講習会（～22日） 24 カナダ・アメリカ:北米における認証システム、機関リポジトリ及び学術検索システムに関する調査、連携協議(～30日) 29 貴重文物講習会「九大所蔵漢籍の特徴と保存・整理の問題」				
2	3 研究開発室訪問研究員 研究報告会「司書の参加の有無が公共図書館建設に及ぼす影響」 19 貴重文物講習会「九大の考古学資料について」 21 アメリカ:図書館情報学・記録管理学教育に関する調査(～27日) 23 附属図書館 平成21年度研修報告会 23 ソウル大学校図書館一行来訪(3名)	16 第3回医学図書館運営委員会			
3	3 中央図書館図書資料選定委員会(第2回) 19 貴重文物講習会「経済学部所蔵の17-18世紀欧州経済学関連文獻について」				19

伊都図書館	文系合同図書室	記録資料館	全学会議	関係団体会議等への出席
理系図書館から伊都図書館に 名称変更 伊都図書館六本松分室 開室 比較社会文化学府オリエンテ ーション 工学部地球環境工学科新入生 図書館ツアー			15 電子ジャーナル等検討専門 委員会(第1回) 28 研究開発室会議	23 九州地区国立大学図書館協会総会 (琉球大学) 24 九州地区大学図書館協議会総会(琉球大学)
	12 第1回文学部図書 委員会 13 第1回経済研究室 委員会 21 QBS 講習会(EBSCO) 26 QBS 講習会(eol)			18 国立大学図書館協会総務委員会・人材委員会・ 図書系二次専門試験委員会・国立大学図書館 協会理事会(東京大学) 19 外国雑誌センター館会議(東京大学) 28 福岡県・佐賀県大学図書館協議会総会 (佐賀大学)
	7 日経NEEDS FQ講習会 12 第2回文学部図書委員会 29 第2回経済研究室委員会		5 電子ジャーナル等検討専門委員会 専門部会(第1回) 30 館長会議 30 電子ジャーナル等検討専門委員会(第2回)	19 国立大学図書館協会総会(新潟コンベンション センター) 20 国立大学図書館協会館長フォーラム・マネジ メントセミナー(新潟大学)
伊都図書館竣工 増設部建物引き渡し	8 第1回法学部図書委員会 13 第1回文系合同図書室運 営委員会	23 第13回記録資料館 運営委員会	7 研究開発室教員選考委員会 7 第201回附属図書館商議委 員会	9 福岡県・佐賀県大学図書館協議会北部地区研究会日録講習会 (九州国際大学) 16 国立大学図書館協会学術情報流通改革検討特別委員会(東京大学) 17 国立大学図書館協会人材委員会(京都大学) 25 九州地区国立大学附属図書館ソフトボール大会(長崎大学)
増設部書架設置工事・閲覧用 什器搬入設置(~9/4) 第1回伊都図書館運営委員会 中央図書館移転資料搬入 (~10日) 伊都図書館六本松分室閉室 六本松分室資料・什器搬 入設置(~25日) 増設部利用開始	5 第3回経済研究室 委員会 25 第4回経済研究室 委員会 28 第3回文学部図書 委員会	28 第14回記録資料館 運営委員会	10 全学図書系係長会議 25 大型図書資料選定委員会 (第1回) 31 学生用図書選定委員会 (第1回) 14 電子ジャーナル等検討専門委 員会専門部会(第2回)	17 フレッシュパーソンセミナー(~18日) (広島大学)
オープニングセレモニー 伊都図書館見学会			7 第1回「九州大学百年の宝物」 刊行委員会 8 研究開発室会議 13 大型図書資料選定委員会 (第2回) 26 電子ジャーナル等検討専門委 員会専門部会(第3回)	19 国立大学図書館協会学術情報特別委員会 (東京大学) 22 国立大学図書館協会人材委員会(山形大学) 23 国立七大学附属図書館協議会/ 国立七大学附 属図書館長会議・事務部長会議(東北大学)
	30 貴重図書室整備工 事(~12/20)		18 第2回「九州大学百年の宝物」 刊行委員会	5 九州地区国立大学図書館協会実務者連絡会議 (~6日)(琉球大学) 16 福岡県・佐賀県大学図書館協議会福岡地区 研究会(福岡女学院大学) 19 国立大学図書館協会総務委員会(東京大学) 20 国立大学図書館協会シンポジウム(神戸大学) 30 国立大学図書館協会秋季理事会・図書系専門 試験委員会(名古屋大学)
伊都図書館学生用図書 選定委員会(書面回議)	22 第5回経済研究室 委員会		22 第3回「九州大学百年の宝物」 刊行委員会 28 大型図書資料選定委員会 (第3回)	4 九州地区国立大学図書館館長・部課長会議等 (九州大学伊都図書館) 24 シンポジウム「学術情報流通の改革を目指して 3」(東京大学)
		8 記録資料館教員 選考委員会 19 記録資料館教員 選考委員会		21 福岡県図書館協会担当者会議 (福岡県立図書館)
	17 第2回文系合同図 書室運営委員会	1 記録資料館教員 選考委員会 1 第15回記録資料館 運営委員会	9 電子ジャーナル等検討専門 委員会(第3回) 22 館長会議 22 第202回附属図書館商議委 員会	8 国立大学図書館協会臨時理事会(東京大学) 24 アジア情報関係機関懇談会(国立国会図書館関 西館)
第2回伊都図書館運営 委員会(書面回議)	14 QBS図書室利用 ガイドス 27 QBS講習会(日経 NEEDS FQ, eol)		26 第4回「九州大学百年の宝物」 刊行委員会	26 福岡市総合図書館運営審議会

平成22(2010)年5月発行

編集発行 九州大学附属図書館
〒812-8581 福岡市東区箱崎6丁目10番1号
TEL(092)642-4264 (図書館企画課企画係)

印刷 城島印刷株式会社

<http://www.lib.kyushu-u.ac.jp>



九州大学
KYUSHU UNIVERSITY

R100